corega

CG-WLCVR300AGN 取扱説明書

※ 5.2GHz、5.3GHz帯の電波を屋外で使用することは、電波法により禁止されています。
IEEE802.11n/a（W52/W53）は、屋外で使用することができませんのでご注意ください。

Y613-17251-00 Rev.B

安全にお使いいただくためにお読みください

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明

⚠警告	**この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

絵記号の説明

この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。

例）

「分解禁止」

この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な指示内容が示されています。

例）

「電源プラグをコンセントから抜く」

⚠警告

家庭用電源（AC100V）以外の電源は使用しないでください。

感電、発煙、火災、故障の原因となります。

付属の電源ケーブルまたは AC アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源ケーブルまたは ACアダプタをほかの機器に使用しないでください。

感電、発煙、火災、故障の原因となります。

⚠警告

電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。

電源ケーブルに重いものを載せたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し、感電、火災の原因となります。

また､電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜くときは､ケーブル部を持って抜かないでください。

電源ケーブルまたは AC アダプタのたこ足配線はしないでください。

発熱して火災の原因となります。

アース線を接続してください。

本商品または電源ケーブルにアース端子が付いている場合は、アース線を接続してください。アース線を接続しないと、感電、けが、火災、故障の原因となります。

本商品（AC アダプタを含む）を分解したり、改造したりしないでください。

感電、けが、火災、故障の原因となります。

煙が出たり、変な臭いがしたら使用を中止し、電源ケーブルまたはAC アダプタを電源コンセントから抜いてください。

そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。

本商品の通風孔から液体や異物が内部に入ったら使用を中止し、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。

そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。

濡れた手で本商品を扱わないでください。

感電の原因となります。

雷のときは本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。

感電の原因となります。

小さなお子様の手の届く場所に設置したり、使用したりしないでください。

けがの原因となります。

⚠警告

梱包用のビニール袋などは、小さなお子様の手の届く場所に置かないでください。

窒息する原因となります。

不安定な場所に設置したり、落としたりしないでください。

けが、故障の原因となります。

本商品は、一般事務および家庭での使用を目的とした商品です。

本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備・航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品を使用しないでください。本商品の故障により、社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠注意

本商品（AC アダプタを含む）を次のような状態で使用しないでください。

・多段積み
・通風孔をふさぐ
・前後左右、上部に十分なスペースがない

内部温度が上昇し、火災、故障の原因となります。

また、本商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭、発煙、火災の原因となります。

⚠注意

本商品を次のような場所で使用したり、保管したりしないでください。

・直射日光のあたる場所
・暖房器具の近くなど高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所
・水などの液体がかかる場所
・振動のある場所
・ほこりの多い場所
・じゅうたんや布団などのある場所
・腐食性ガスの発生する場所
・台所、浴室、ユニットバス、洗面所など、水気や湿気が多い場所
・天井裏、クローゼットの中など、高温、多湿、風通しの悪い場所
・強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所

感電、火災、故障の原因となります。

お手入れ可能な場所に設置してください。

本商品（AC アダプタを含む）にほこりなどが付着していると、発煙、火災の原因となります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切り、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

設置または移動するときは、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。

感電、火災の原因となります。

長期間使用しないときは、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。

火災の原因となります。

本商品に強い衝撃を与えないでください。

故障の原因となります。

静電気が発生しやすい場所に設置したり、帯電した手で本商品を触らないでください。

感電、故障の原因となります。

無線製品をご利用の際のご注意

■電波に関するご注意

本商品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。また、設置の前に必ずP.2「安全にお使いいただくためにお読みください」をお読みください。

・心臓ペースメーカの近くで本商品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。

・医療機器の近くで本商品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。

・電子レンジの近くで本商品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本商品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1　この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2　万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、コレガサポートセンタにご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

3　その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、コレガサポートセンタへお問い合わせください。

本商品の次の記載は、この無線機器が 2.4GHz 帯を使用し、変調方式として DS-SS と OFDM 変調方式を採用、想定される干渉距離は 40m であることを表します。また、周波数変更の可否として、全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能です。

2.4DS/OF4
■■■

2.4	：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。
DS/OF	：DS-SS 方式および OFDM 方式を表します。
4	：想定される干渉距離が 40m 以下を表します。
■■■	：全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能なことを表します。

本商品は、5GHz 帯の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯の電波を屋外で使用することは電波法により禁止されています。
本商品が使用する IEEE802.11a と IEEE802.11n のチャンネルは 36、40、44、48ch（W52）と 52、56、60、64ch（W53）と 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch（W56）です。34、38、42、46ch（J52）を使用する無線機器（アクセスポイントやクライアント）とは通信できません。

W52（5.2GHz 帯　36、40、44、48ch）が利用できます。
W53（5.3GHz 帯　52、56、60、64ch）が利用できます。
W56（5.6GHz 帯　100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）が利用できます。

W53、W56 を使用する場合は、法令により次のような制限があります。

・各チャンネルの通信開始前に、1 分間レーダー波を検出します。その間は通信できません。
・通信中にレーダー波を検出した場合、自動的にチャンネルを変更します。その間は通信が中断されることがあります。

■セキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲内であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

・ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報

・メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）

・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）

・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）

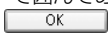
・コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

はじめに

このたびは、「CG-WLCVR300AGN」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本書は本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。
また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、コレガホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/

本書の読み方

■記号について

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

	操作中に気をつけていただきたい内容です。 必ずお読みください。		**補足事項や参考となる情報を説明しています。**

■表記について

本商品	CG-WLCVR300AGNのことです。
「　」−「　」−「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[　]	[　] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例： OK → [OK]
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista® Home Basic、 Microsoft® Windows Vista® Home Premium、 Microsoft® Windows Vista® Business および Microsoft® Windows Vista® Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system

※本書では、複数のOSを「Windows Vista/XP」のように併記する場合があります。

■イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

マニュアルの種類と使い方

本商品には次のマニュアルがあります。本商品をお使いになる際にはそれぞれのマニュアルをご覧ください。

○はじめにお読みください

本商品の概要を説明しています。

○取扱説明書（本書）

安全にお使いいただくためのご注意、本商品を使い始めるまでのセットアップ作業について説明しています。また、「Q&A」では代表的なトラブルとその対処方法を説明しています。

本書の構成

本書は本商品についての情報や、設置・接続・設定方法などついて説明しています。本書の構成は次のとおりです。

■第１章　お使いになる前にお読みください

本商品の特長、各部の名称と働きなどについて説明します。

〈クライアントモード編〉

■第２章　本商品の設置と設定

本商品の設定の手順について説明します。

■第３章　設定画面の詳細説明

本商品の設定画面で設定できる機能について説明します。

〈アクセスポイントモード編〉

■第４章　本商品の設置と設定

本商品の設定の手順について説明します。

■第５章　設定画面の詳細説明

本商品の設定画面で設定できる機能について説明します。

■第６章　トラブル解決とQ&A

トラブルの対処法やよくある質問について説明します。

■付録

本商品の仕様、保証や修理のご案内などを記載しています。

付属品一覧

本商品をご使用になる前に、次のものが付属されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

- □ CG-WLCVR300AGN　本体
- □ AC アダプタ
- □ 壁掛け用ネジセット（アンカ× 2、ネジ× 2）
- □ LANケーブル（1.5m）
- □ はじめにお読みください
- □ 取扱説明書（本書）
- □ 電波干渉注意ラベル
- □ 製品保証書

目次

第 1 章
お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の特長、各部の名称と働きなどについて説明します。

1.1　本商品の特長

本商品はIEEE802.11n/a/g/bの4つの無線LAN規格に対応したイーサネットコンバータです。1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Tに対応した5ポートのギガスイッチングハブを搭載し、複数台のネットワーク機器（デジタル家電など）をまとめて無線LANで接続できます。また、切替スイッチでアクセスポイント（親機）に切り替えて使用できます。

○ **IEEE802.11n/a/g/bの4規格に対応**

2.4GHz帯／5GHz帯のIEEE802.11nに対応するほか、普及しているIEEE802.11g/bと電波干渉に強いIEEE802.11aに対応します。

○ **300Mbps（理論値）に対応**

ダブルチャンネルとショートガードインターバルに対応し、IEEE802.11nの300Mbps（理論値）に対応します。

○ **IEEE802.11a（W52/W53/W56）に対応**

国際標準のW52/W53に加え、屋外でも利用できるW56に対応します。5GHz帯で利用できる無線チャンネル数が従来の8チャンネルから19チャンネルに増え、より柔軟な無線ネットワークを構築できます。

○ **パワーセービング機能搭載**

使用していないLANポートへの電力供給をカットして、消費電力を抑えます。

○ **エコピタLED消灯モードを搭載**

電源LED以外の本体前面のLEDを消灯する機能です。夜間のまぶしさを軽減します。

○ **WEPやWPA/WPA2に対応**

無線LANのセキュリティは、普及しているWEP（64/128bit）のほか、高セキュリティのWPA/WPA2に対応しています。

○ **WPS（Wi-Fi Protected Setup）のプッシュボタンを搭載**

WPSのプッシュボタンによる接続に対応します。WPSボタンを押すだけで簡単にWPA/WPA2-PSKの高いセキュリティで接続できます。

○ 5 ポートのギガスイッチングハブを搭載

5 ポートのスイッチングハブを搭載し、複数台のネットワーク機器をまとめて無線 LAN に接続できます。全ポートが 1000BASE-T のギガビットイーサネットに対応し、有線ネットワーク間での高速な通信を実現します。

○壁掛けに対応

壁掛け用ネジセットを使用して、お使いの環境に適した設置ができます。

○アクセスポイント（親機）モードに切り替え可能

モード切替スイッチを搭載し、クライアント（子機）モードとアクセスポイント（親機）モードを切り替えて使用できます。

・クライアント（子機）モード時は、IEEE802.11n/a（W52/W53/W56）とIEEE802.11n/b/g に対応します。接続する親機に合わせて自動的に切り替わります。
・アクセスポイント（親機）モード時は、IEEE802.11n/a（W52/W53/W56）または IEEE802.11n/g/b のいずれかに対応します。n/a ⇔ n/g/b 切替タイプです。
・初期設定はクライアント（子機）モードです。
・アドホックには対応しません。

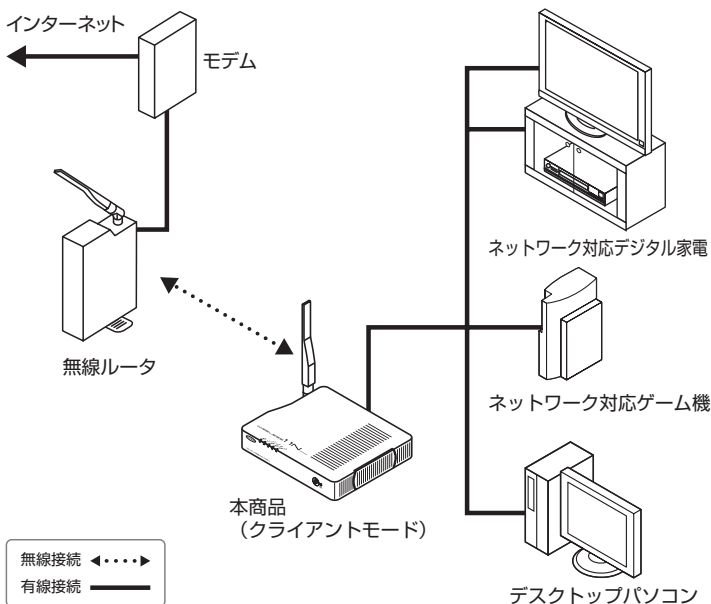
1.2　ネットワーク構成例

本商品を使ったネットワークの構成例を紹介します。
本商品は、モード切替スイッチでクライアント（子機）モードとアクセスポイント（親機）モードを切り替えられます。

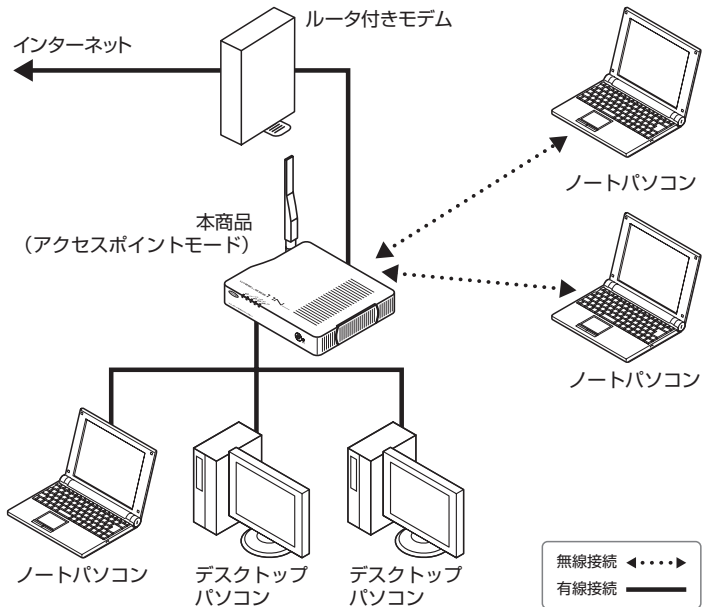
初期設定はクライアント（子機）モードです。

☞ P.22「1.3 各部の名称と機能」

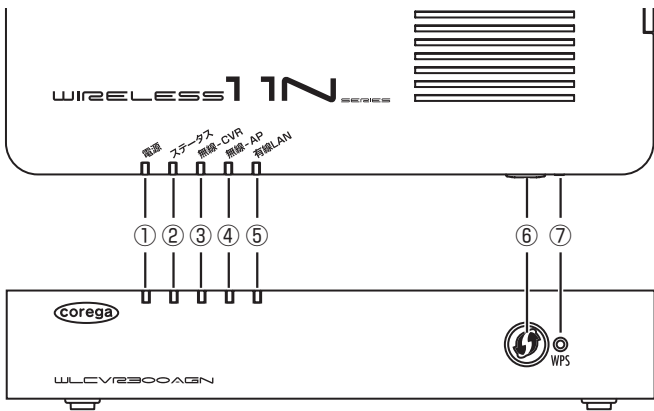
1.2.1　クライアントモード

パソコンやデジタル家電などの LAN ポートを搭載した機器を無線 LAN に接続するためのモードです。LAN ケーブルから解放されることで、自由なレイアウトで設置できます。
また、スイッチングハブを 5 ポート搭載し、複数台のネットワーク機器をまとめて無線 LAN で接続できます。

本商品をクライアント（子機）モードで使用する場合は、**P.29「 第 2 章** 本商品の設置と設定」をご覧ください。

1.2.2　アクセスポイントモード

パソコンやデジタル家電などの無線LANを搭載した機器を接続するためのモードです。
また、スイッチングハブを 5 ポート搭載し、複数台の有線ネットワーク機器もまとめて接続できます。
ルータ機能付きモデムとの接続に最適です。

本商品をアクセスポイント（親機）モードで使用する場合は、P.69「　**第 4 章** 本商品の設置と設定」をご覧ください。

1.3　各部の名称と機能

1.3.1　前面／上面

①電源 LED（緑／橙）

本商品の電源の状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	本商品の電源が入っています。
橙	点灯	本商品は「エコピタLED消灯モード」で動作しています。
－	消灯	本商品の電源が入っていません。

☞ P.134 「6.3.2　エコピタ LED を設定したい」

②ステータス LED（赤）

本商品の状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
赤	点灯	セルフテスト中です。
赤	点滅	ファームウェアを更新しています。
－	消灯	正常に動作しています。

☞ P.134 「6.3.2　エコピタ LED を設定したい」

③無線 -CVR LED（緑／橙）

クライアント（子機）モード時の無線 LAN の状態を表示します

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	2.4GHz 帯（802.11n/g/b）の無線 LAN と接続しています。
緑	点滅	2.4GHz 帯（802.11n/g/b）の無線 LAN と通信しています。
橙	点灯	5GHz 帯(802.11n/a)の無線 LAN と接続しています。
橙	点滅	5GHz 帯(802.11n/a)の無線 LAN と通信しています。
ー	消灯	無線 LAN と接続していないか、無線 LAN 機能が無効になっているか、「エコピタ LED 消灯モード」で動作しています。

☞ P.134 「6.3.2 エコピタ LED を設定したい」

④無線 -AP LED（緑／橙）

アクセスポイント（親機）モード時の無線 LAN の状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	2.4GHz 帯（802.11n/g/b）の無線 LAN と接続しています。
緑	点滅	2.4GHz 帯（802.11n/g/b）の無線 LAN と通信しています。
橙	点灯	5GHz 帯(802.11n/a)の無線 LAN と接続しています。
橙	点滅	5GHz 帯(802.11n/a)の無線 LAN と通信しています。
ー	消灯	無線 LAN と接続していないか、無線 LAN 機能が無効になっているか、「エコピタ LED 消灯モード」で動作しています。

☞ P.134 「6.3.2 エコピタ LED を設定したい」

⑤有線LAN LED（緑）

LAN ポートの状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	1 ～ 5 のいずれかの LAN ポートのリンクが確立しています。
緑	点滅	1 ～ 5 のいずれかの LAN ポートが通信しています。
ー	消灯	1 ～ 5 のすべてのLAN ポートのリンクが確立していないか、「エコピタ LED 消灯モード」で動作しています。

☞ **P.134** 「6.3.2　エコピタ LED を設定したい」

⑥ WPS ボタン

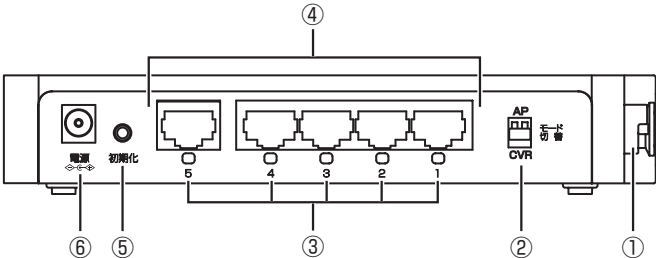
WPS（Wi-Fi Protected Setup）で無線 LAN を設定するためのボタンです。

☞ **P.36** 「2.4　WPS ボタンで接続する」
☞ **P.76** 「4.4　WPS ボタンで接続する」

⑦ WPS LED（緑）

WPS の設定状態を表示します。

☞ **P.36** 「2.4　WPS ボタンで接続する」
☞ **P.76** 「4.4　WPS ボタンで接続する」

1.3.2　背面

①アンテナ

アンテナ電波の送受信部です。

②モード切替スイッチ

クライアント（子機）モードとアクセスポイント（親機）モードを切り替えるスイッチです。それぞれの動作状態は次のとおりです。

切替スイッチ	「CVR」	「AP」
動作モード	クライアント（子機）	アクセスポイント（親機）
IP アドレス	192.168.1.235	192.168.1.230

初期設定はクライアント（子機）モードです。

③ LAN ポート LED（緑）

1 ～ 5 の各 LAN ポートの状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	LAN ポートのリンクが確立しています。
緑	点滅	LAN ポートが通信しています。
ー	消灯	LAN ポートのリンクが確立していません。

④LAN ポート（1 ～ 5）

パソコンやネットワーク対応のデジタル家電などを接続するためのポートです。1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T に対応しています。

⑤初期化ボタン

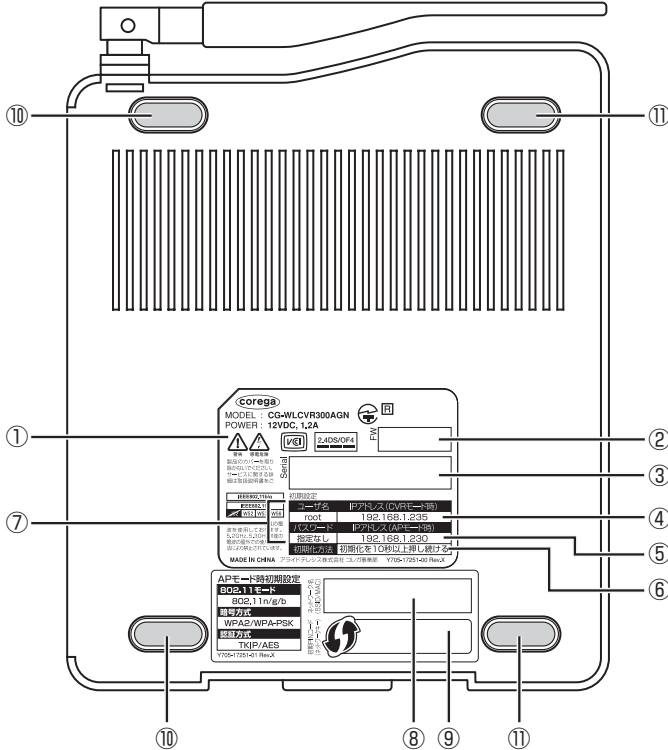
本商品を工場出荷時の状態に戻すためのボタンです。

☞ P.147 「6.3.6 工場出荷時の状態に戻したい」

⑥DC ジャック

付属の AC アダプタを接続するためのコネクタです。

- 必ず本商品に付属の専用 AC アダプタをお使いください。付属の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
- 本商品に付属の専用 AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。

1.3.3　底面

①製品ラベル

商品名や本商品の各情報が記載されています。

②ファームウェアバージョン

工場出荷時のファームウェアのバージョンが記載されています。

③シリアル番号

本商品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。

④ IP アドレス（CVR モード時）

クライアント（子機）モード時のIP アドレスの初期値が記載されています。

⑤ IP アドレス（AP モード時）

アクセスポイント（親機）モード時の IP アドレスの初期値が記載されています。

⑥初期化方法

本商品の初期化方法が記載されています。

☞ P.147 「6.3.6 工場出荷時の状態に戻したい」

⑦ユーザ名／パスワード

本商品の設定画面を表示するためのユーザ名とパスワードの初期値が記載されています。

⑧ネットワーク名（SSID ／ MAC）

アクセスポイント（親機）モード時のネットワーク名（SSID）の初期値が記載されています。本商品の MAC アドレスを兼ねています。

⑨初期 PIN コード（ネットワークキー）

アクセスポイント（親機）モード時の WPS の初期 PIN コードが記載されています。WPA/WPA2-PSK のネットワークキーを兼ねています。

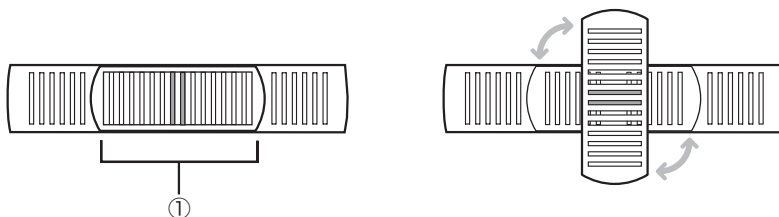
⑩ゴム足

本商品を横置きする場合に使用します。

⑪ゴム足／壁掛け用ネジセット取り付け位置

壁掛け用ネジセットを取り付ける位置です。ゴム足を取り外して使用します。

☞ P.164「**付録** 壁掛け用ネジセットで壁掛けする」

1.3.4 右側面

①スタンド

本商品を縦置きにするときに 90 度回転させて使用します。

クライアントモード

第2章
本商品の設置と設定

この章ではクライアント（子機）モード時の本商品の設定手順について説明します。

2.1 本商品の確認

2.1.1 動作環境

本商品をクライアント（子機）モードで使用する場合の動作環境は次のとおりです。

■対応する無線 LAN 機器

IEEE802.11n/a（W52/W53/W56）/g/b いずれかの規格に対応している無線 LAN アクセスポイント・無線 LAN ルータ・無線 LAN 機器内蔵モデムなどの無線 LAN 親機

■対応する機器

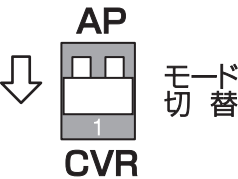
LAN ポート（RJ-45）を装備しているネットワーク機器（パソコンやデジタル家電など）

■設定の変更に必要な機器

本商品の設定を変更する場合は、次の条件を満たす設定用のパソコンが必要になります。

- LAN ポート（RJ-45）を装備している
- TCP/IP が組み込まれている
- Windows Vista（32bit）/XP（32bit）/2000、Mac OS X（10.5/10.4）のいずれかの OS が動作している
- Internet Explorer（8.0/7.0/6.0）、Safari（3.0/2.0）がインストールをされている

2.1.2　動作モードの設定

本商品をクライアント（子機）モードで使用する場合は、モード切替スイッチを次のとおりに設定します。設定が合っている場合は、変更する必要はありません。

モード切替スイッチは、必ず本商品の電源を切った状態で操作してください。

初期設定はクライアント（子機）モードです。

クライアント（子機）モード時の動作状態は次のとおりです。

切替スイッチ	「CVR」
動作モード	クライアント（子機）
IP アドレス	192.168.1.235

動作モードの設定が完了したら、**P.32**「2.2　本商品の設置」に進みます。

2.2 本商品の設置

本商品をクライアント（子機）モードで使用する場合の設置方法を説明します。

2.2.1 設置する前に

本商品を設置する前に、P.2「安全にお使いいただくためにお読みください」を必ずお読みください。
設置については、次の点にご注意ください。

· 電波を妨げないような場所に設置してください。
· AC アダプタのケーブルやLAN ケーブルに無理な力が加わるような配置は避けてください。
· テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
· 十分な換気ができるように、本商品の上面と側面にある通気口をふさがないように設置してください。
· 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
· 本商品の上に物を置かないでください。
· 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
· 本商品は屋外ではご使用になれません。
· コネクタの端子に触らないでください。静電気を帯びた手（体）でコネクタの端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。

2.2.2 設置方法

本商品にはゴム足が取り付けられていますので、そのまま机の上などの水平な場所に設置できます。
壁掛け用ネジセットを使用して壁面に取り付ける場合は、次の項目をご覧ください。

☞ P.164「**付録** 壁掛け用ネジセットで壁掛けする」

2.2.3　ネットワーク機器を接続する

本商品とパソコンやネットワーク機器の接続に使用できるLANケーブルの種類と接続方法を説明します。

■ LAN ケーブルについて

本商品に使用できる LAN ケーブルは次のとおりです。

・LAN ケーブルの種類

対応する通信規格（通信速度）によって、次の種類のLAN ケーブルを使用できます。

通信規格	LAN ケーブルの種類
1000BASE-T	エンハンスド・カテゴリ５以上のUTP ケーブル
100BASE-TX	カテゴリ５以上のUTP ケーブル
10BASE-T	カテゴリ３以上のUTP ケーブル

・LAN ケーブルの結線

本商品の LAN ポートは、Auto MDI/MDI-X に対応しています。ストレートケーブルまたはクロスケーブルのどちらの結線でも接続できます。

■ LAN ケーブルの接続方法

LAN ケーブルの接続手順は次のとおりです。

1　LAN ケーブルと本商品を接続します。

LAN ケーブルを本商品のLAN ポートに接続します。ケーブルはカチッと音がするまでしっかりと差し込みます。

2　LAN ケーブルをネットワーク機器に接続します。

本商品に接続した LAN ケーブルをパソコンやネットワーク機器に接続します。

2.2.4　電源を入れる／電源を切る

本商品には電源スイッチがありません。AC アダプタを電源コンセントに接続すると本商品の電源が入ります。

- 必ず本商品に付属している AC アダプタをお使いください。付属の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
- 本商品に付属している AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。

■電源を入れる

次の手順で本商品の電源を入れます。

本商品の AC アダプタは、必ず AC100V の電源コンセントに接続してください。規格外の電源コンセントに接続すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

1　**AC アダプタを接続します。**

AC アダプタの DC プラグを、本体背面の DC ジャックに接続します。AC アダプタを AC100V の電源コンセントに接続します。

2　**電源 LED が点灯します。**

電源が入ると、電源 LED が点灯します。本商品が起動する間にステータス LED が点灯→消灯します。起動が完了するまで 2 分ほどお待ちください。

■電源を切る

本商品の電源を切るには、ACアダプタを電源コンセントから抜きます。

- AC アダプタを電源コンセントに接続したまま、DC プラグを抜かないでください。感電するおそれがあります。
- 電源を切った後に再び電源を入れる場合は、電源を切ってから 30 秒以上経過してから接続してください。連続で電源を切ったり入れたりすると、故障の原因となります。

2.3　本商品の設定方法

本商品は、WPS ボタンを使った WPS（Wi-Fi Protected Setup）による設定方法と、Web ブラウザを使った Web 設定画面での設定方法の 2 とおりの設定方法を用意しています。それぞれ次の特長があります。

2

接続したいアクセスポイント（親機）が WPS に対応している場合は、WPS で設定することをお勧めします。

■ WPS（Wi-Fi Protected Setup）

・WPS ボタンを押すだけで簡単に本商品をアクセスポイント(親機)に接続できます
・WPA/WPA2-PSK による高いセキュリティが設定できます
・パソコンがなくても設定できます

アクセスポイント（親機）が WPS に対応している必要があります。

アクセスポイント（親機）が WPS に対応している場合は、WPS での設定をお勧めします。

☞ P.36「2.4　WPS ボタンで接続する」

■ Web 設定画面

・ウィザード形式でアクセスポイント（親機）を検索できます
・WPS に対応していないアクセスポイント（親機）に接続できます

設定にパソコンが必要です。

アクセスポイント（親機）が WPS に対応していない場合や、よくわからない場合は、設定用パソコンを用意して、Web 設定画面で設定します。詳しい手順は、次の項目をご覧ください。

☞ P.41「2.5　簡単設定で接続する」

2.4　WPS ボタンで接続する

WPS ボタンで本商品を設定する場合は、次の手順で設定します。

STEP1	**ネットワーク機器を接続する** ネットワーク機器を本商品に LAN ケーブルで接続します。 ☞ **P.37**「2.4.1 ネットワーク機器を接続する」

STEP2	**WPS ボタンで設定する** WPS（Wi-Fi Protected Setup）で無線 LAN を設定します。 ☞ **P.37**「2.4.2 WPS で無線 LAN を設定する」

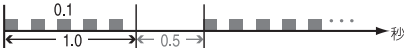
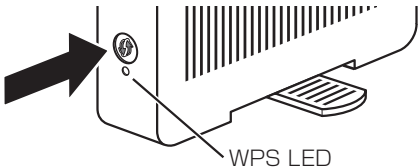
STEP3	**ネットワークに接続できることを確認する** ネットワーク機器がインターネットなどのネットワークに接続できることを確認します。 ☞ **P.39**「2.4.3 ネットワークに接続できることを確認する」

2.4.1　ネットワーク機器を接続する

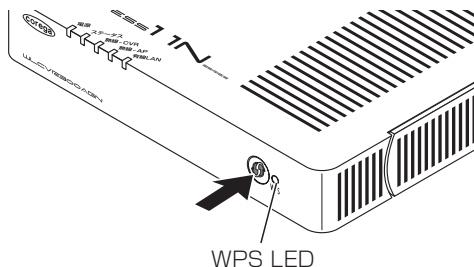
ネットワーク機器を本商品のLAN ポートにLAN ケーブルで接続して、本商品の電源を入れます。

2.4.2　WPS で無線LAN を設定する

次の手順で WPS の設定します。

ここでは、アクセスポイント（親機）の例として CG-WLBARGNM を使います。詳しくは、お使いのアクセスポイント（親機）の取扱説明書をご覧ください。

1　アクセスポイント(親機)の WPS ボタンを２秒以上押して離し、WPS LED が点滅することを確認します。

※図は CG-WLBARGNM の例です。

WPS LED の動作は次の表を参考にしてください（数字はおよその秒数を表します)。

2 本商品前面のWPSボタンを2秒以上押して離し、WPS LEDが点滅することを確認します。

WPS LEDの動作は次の表を参考にしてください（数字はおよその秒数を表します）。

（凡例）■：点灯　□：消灯

3 アクセスポイントの検索が始まります。

アクセスポイント（親機）のWPS LEDが待ち受け中になり、本商品のWPS LEDがアクセスポイント検索中になります。

- 信号を受信しやすいように、アクセスポイント（親機）と本商品を近づけてください。
- 約2分間検索しますが、環境によっては検索に時間がかかる場合があります。

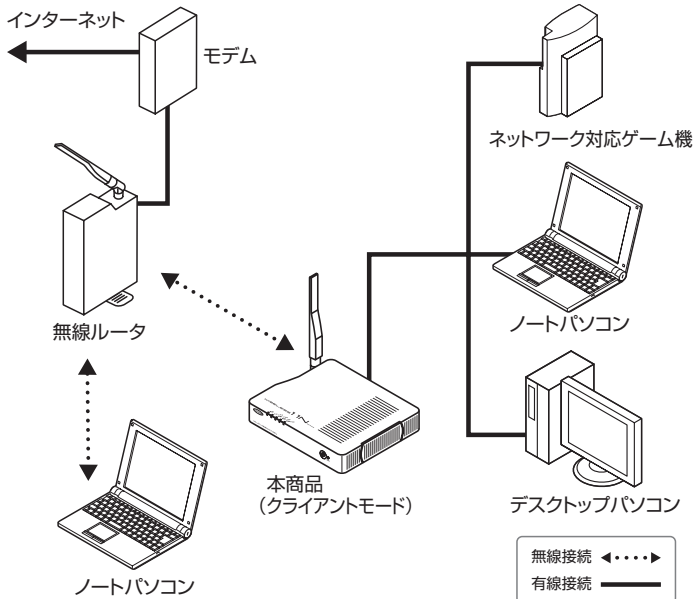
4 設定が完了します。

アクセスポイント（親機）が設定完了の動作になり、本商品のWPS LEDが消灯して再起動すると、WPSの設定が完了します。

LEDの表で、設定完了の動作にならない場合は、WPS LEDが消灯したあとに、はじめからやり直してください。

本商品のステータスLEDが点灯→消灯して本商品は再起動します。再起動には2分ほど時間がかかります。

2.4.3　ネットワークに接続できることを確認する

ネットワーク機器の電源を入れて、ネットワークに接続できることを確認します。

ネットワークに接続できない場合は、P.40「2.4.4 ネットワークに接続できない場合」を確認してください。

以上で、WPS ボタンでの無線 LAN の設定は完了です。

2.4.4 ネットワークに接続できない場合

ネットワークに接続できない場合は、次の内容を確認してください。

1 設定用パソコンを用意します。

☞ P.52「3.1.1 設定用パソコンを接続する」

2 設定用パソコンで本商品の設定画面を表示します。

☞ P.53「3.1.2 Web 設定画面を表示する」

3 状態を確認します。

「ステータス」で「接続状態」と「認証状態」を確認します。

☞ P.67「3.7 ステータス」

「接続状態」が「接続」、「認証状態」が「接続成功」になっている場合は、本商品はアクセスポイント（親機）と無線で通信しています。この場合、無線LAN以外で問題が起きている可能性がありますので、確認してください。

「接続状態」が「未接続」になっている場合は、本商品はアクセスポイント（親機）と無線で通信できていません。本商品とアクセスポイント（親機）を近づけて再度WPS ボタンで接続するか、Web 設定画面の簡単設定で接続してください。

☞ P.36「2.4 WPS ボタンで接続する」
☞ P.41「2.5 簡単設定で接続する」

2.5　簡単設定で接続する

本商品の Web 設定画面の簡単設定で設定する場合は、次の手順で設定します。

STEP1	**アクセスポイントの設定を確認する** 接続したいアクセスポイント（親機）の無線設定を確認します。 ☞ **P.42**「2.5.1　アクセスポイントの設定を確認する」

STEP2	**設定パソコンを接続する** 設定パソコンを用意して、本商品に接続します。 ☞ **P.43**「2.5.2　設定用パソコンを接続する」

STEP3	**簡単設定で設定する** Web 設定画面の簡単設定で無線 LAN を設定します。画面に従って、「アクセスポイントを検索する」または「手動で接続する」のどちらかを選択します。 ☞ **P.43**「2.5.3　簡単設定で無線 LAN を設定する」

STEP4	**ネットワークに接続できることを確認する** ネットワーク機器を本商品に接続して、ネットワークに接続できることを確認します。 ☞ **P.50**「2.5.4　ネットワークに接続できることを確認する」

2.5.1　アクセスポイントの設定を確認する

お使いのアクセスポイントの設定を確認します。あらかじめ次の項目を確認してください。メモに控えておくことをお勧めします。

- **ネットワーク名（SSID、ESSID）**
  ネットワーク名には、大文字・小文字の区別があります。
- **認証方式**
  Open System、Shared Key、WPA-PSK、WPA2-PSK など。
- **暗号化**
  WEP、TKIP、AES など。
- **暗号キー**
  WEP キー、WPA 共有キーなど。

本商品は、WPA/WPA2-EAP（エンタープライズ）には対応していません。

ここでは、次の設定を例に説明します。

ネットワーク名（SSID）	000A79XXXXXX
認証方式	WPA-PSK
暗号化	TKIP
暗号キー（WPA 共有キー）	XXXXXXXX

2

2.5.2　設定用パソコンを接続する

簡単設定で設定するために、次の手順で設定用パソコンを接続します。

設定用パソコンに設定されていた内容は、設定変更前にメモに控えておいてください。あとでパソコンの設定を元に戻す際に必要になります。

1　設定用パソコンの IP アドレスを次のとおりに設定します。

IP アドレス	192.168.1.123 ※ 192.168.1.235 を除く、192.168.1.1 ～ 192.168.1.254 の範囲で設定できますが、ここでは 192.168.1.123 を例に説明します。
サブネットマスク	255.255.255.0

☞ **P.153**「6.3.9　パソコンの IP アドレスを設定したい」
☞ **P.122**「6.2.2　Web 設定画面が表示されない」

2　本商品に設定用パソコンを接続します。

設定用パソコンと本商品を、LAN ケーブルで接続します。

2.5.3　簡単設定で無線 LAN を設定する

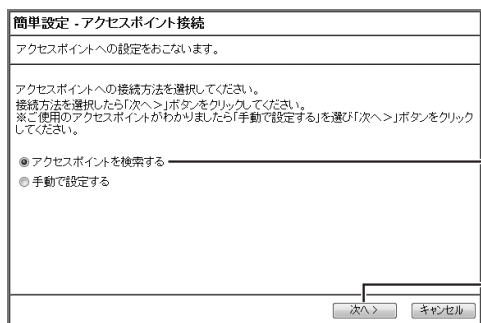
本商品のWeb 設定画面を表示して、簡単設定で無線 LANを設定します。

あらかじめ、本商品のモードを切替スイッチが「CVR」になっていることを確認してください。

1　Web 設定画面を表示します。

Web ブラウザを起動し、アドレスに「192.168.1.235」と入力して、Web 設定画面を表示します。

2 ユーザ名に「root」と入力し、[ログイン]をクリックして、Web 設定画面にログインします。

3 「簡単設定」をクリックし、「簡単設定・アクセスポイント接続」を表示します。

4 「アクセスポイントを検索する」を選択し、[次へ]をクリックします。

通常は「アクセスポイントを検索する」を選択して設定してください。アクセスポイントの情報がすべてわかる場合のみ、「手動で接続する」を選択します。

☞ P.47「手動で接続する」

5　アクセスポイントを選択します。

検索されたアクセスポイントの中から、接続したいアクセスポイントを選択し、［次へ］をクリックします。

6　セキュリティを設定します。

ネットワーク名(SSID)や認証方式が設定されていることを確認します。暗号化のキー（ここでは WPA 共有キー）に、アクセスポイントに設定している値を入力し、［次へ］をクリックします。

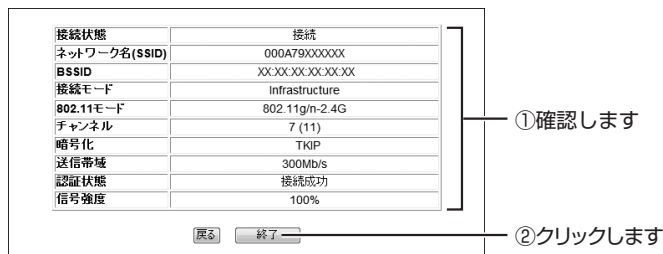
※ステルス AP が有効になっているアクセスポイントを選択した場合は、「ネットワーク名（SSID）」も入力する必要があります。

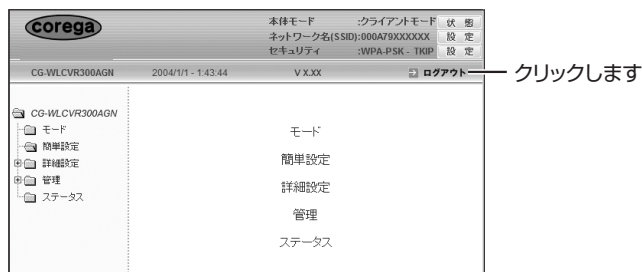
7　セキュリティの設定を確認し、［次へ］をクリックします。

8　再起動します。

再起動が完了するまで、２分ほどお待ちください。

9 設定を完了します。

再起動後に本商品の状態が表示されます。［終了］をクリックし、設定を完了します。

10 ログアウトします。

［ログアウト］をクリックし、本商品からログアウトします。

11 ブラウザを終了します。

X をクリックし、ブラウザを終了します。

12 設定用パソコンの設定を元に戻します。

設定用パソコンの IP アドレスなどの設定を P.43「2.5.2 設定用パソコンを接続する」でメモに控えておいた設定に戻します。

☞ P.153「パソコンの IP アドレスを設定したい」

このあとは P.50「ネットワークに接続できることを確認する」に進みます。

■手動で接続する

簡単設定で手動で設定する場合は、次の手順で設定します。

1 「手動で設定する」を選択し、[次へ] をクリックします。

2 確認したアクセスポイントの設定を入力し、[次へ] をクリックします。

☞ P.42「アクセスポイントの設定を確認する」

3 設定したセキュリティの設定を確認し、[次へ] をクリックします。

4 本商品に設定した内容が表示されます。

［終了］をクリックし、設定を完了します。

5 ログアウトします。

［ログアウト］をクリックし、本商品からログアウトします。

6　ブラウザを終了します。

[X] をクリックし、ブラウザを終了します。

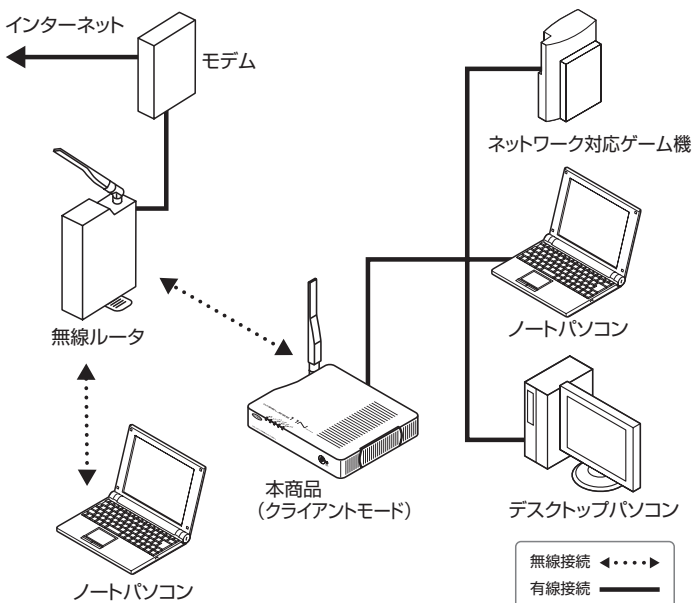
7　設定用パソコンの設定を元に戻します。

設定用パソコンの IP アドレスなどの設定を **P.43**「2.5.2 設定用パソコンを接続する」でメモに控えておいた設定に戻します。

☞ **P.153**「パソコンの IP アドレスを設定したい」

このあとは、**P.50**「ネットワークに接続できることを確認する」に進みます。

2.5.4 ネットワークに接続できることを確認する

ネットワーク機器の電源を入れて、ネットワークに接続できることを確認します。

ネットワークに接続できない場合は、P.40「2.4.4 ネットワークに接続できない場合」を確認してください。

以上で、簡単設定での無線 LAN の設定は完了です。

クライアントモード

第３章
設定画面の詳細説明

この章では、クライアント（子機）モード時の本商品の設定画面で設定できる機能について説明します。

3

3.1 Web 設定画面を表示する

本章では、クライアント（子機）モード時の Web 設定画面について説明します。本商品をお使いになって、「もっと使いこなしたい」、「設定の詳しい情報が知りたい」と思ったときにご覧ください。

3.1.1 設定用パソコンを接続する

Web 設定画面を表示するために、次の手順で設定用パソコンを接続します。

設定用パソコンに設定されていた内容は、設定変更前にメモに控えておいてください。あとでパソコンの設定を元に戻す際に必要になります。

1 設定用パソコンを準備します。

設定用パソコンの IP アドレスを、次のとおりに設定します。

IP アドレス	192.168.1.123 ※ 192.168.1.235 を除く、192.168.1.1 ～ 192.168.1.254 の範囲で設定できますが、ここでは 192.168.1.123 を例に説明します。
サブネットマスク	255.255.255.0

☞ P.153「6.3.9 パソコンの IP アドレスを設定したい」
☞ P.122「6.2.2 Web 設定画面が表示されない」

2 本商品に設定用パソコンを接続します。

設定用パソコンと本商品を、LAN ケーブルで接続します。

3.1.2 Web 設定画面を表示する

次の手順で本商品の Web 設定画面を表示します。

あらかじめ、本商品のモードを切替スイッチが「CVR」になっていることを確認してください。
☞ P.31「2.1.2 動作モードの設定」

1 **Web 設定画面を表示します。**

Web ブラウザを起動し、アドレスに「192.168.1.235」と入力して、Web 設定画面を表示します。

2 **ユーザ名に「root」と入力し、[ログイン] をクリックして、Web 設定画面にログインします。**

3 **Web 設定画面が表示されます。**

本商品の設定が終了したら、設定用パソコンの IP アドレスを元に戻してください。
☞ P.153「6.3.9 パソコンのIPアドレスを設定したい」

3.2　Web 設定画面の全体構成

本商品の Web 設定画面のトップページです。画面左側のメニューや画面中央のメニューで各種設定画面を表示するほか、重要な情報を表示します。

①コレガロゴ

インターネット接続時にクリックすると、コレガホームページを表示します。

②本体モード

現在のステータスを表示します。

［状態］をクリックすると、本商品のステータスを表示します。

☞ **P.67**「3.7 ステータス」

③ネットワーク名（SSID）

現在のネットワーク名（SSID）を表示します。

［設定］をクリックすると、無線 LAN の設定画面を表示します。

☞ **P.62**「■ 802.11a/b/g/n 設定」

④セキュリティ

現在のセキュリティ設定を表示します。

［設定］をクリックすると、無線 LAN のセキュリティ設定画面を表示します。

☞ **P.63**「■ 802.11a/b/g/n セキュリティ設定」

⑤[ログアウト]

クリックすると Web 設定画面からログアウトします。再度、Web 設定画面を表示するには、ログアウト画面で［再ログイン］をクリックします。

⑥モード

本商品の動作モードを表示します。

☞ **P.56**「3.3　モード」

⑦簡単設定

ウィザード形式で簡単にアクセスポイントに接続できます。

☞ **P.57**「3.4　簡単設定」

⑧詳細設定

アクセスポイントに接続する設定を手動で設定します。

☞ P.58「3.5 詳細設定」

⑨管理

本商品の管理者ログイン名やパスワードなどを設定できます。

☞ P.65「3.6 管理」

⑩ステータス

本商品のステータスを表示します。

☞ P.67「3.7 ステータス」

・本章では例を使用して説明しています。実際にはお使いの環境に合った値を入力してください。
・各画面にある［HELP］をクリックすると、設定項目の説明が表示されます。
・各画面にある［設定］をクリックすると、現在の内容を本商品に設定します。
・各画面にある［取消］をクリックすると、設定中の内容を取り消します。
・各画面にある［戻る］をクリックすると、1 階層上の画面に戻ります。

3.3　モード

クライアント（子機）モード時の本商品の動作状態を表示します。

①本体モード

本商品の動作モードを表示します。

・クライアントモード

クライアント（子機）として動作しています

②無線コンバータ

クライアント（子機）モードの場合は、常時「11a/b/g/n 有効」です。

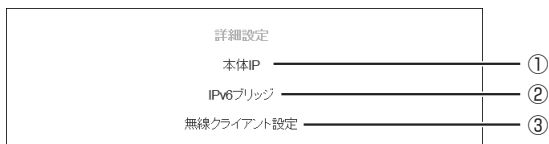
クライアント（子機）モードの 802.11a は、W52/W53/W56 に対応しています。

3.4　簡単設定

アクセスポイントに接続する設定をウィザード形式で簡単に設定できます。
詳しくは、**P.41**「2.5　簡単設定で接続する」をご覧ください。

☞ **P.41**「2.5　簡単設定で接続する」

3.5　詳細設定

クライアント（子機）モード時の本商品の詳細な項目を設定できます。

①本体 IP

本商品の IP アドレスを設定します。

☞ **P.59**「3.5.1　本体 IP」

② IPv6 ブリッジ

本商品の IPv6 ブリッジを設定します。

☞ **P.60**「3.5.2　IPv6 ブリッジ」

③無線クライアント設定

本商品の無線 LAN を設定します。

☞ **P.61**「3.5.3　無線クライアント設定」

3.5.1　本体 IP

本商品の IP アドレスを設定できます。

3

① MAC アドレス

本商品の MAC（Media Control Access）アドレスを表示します。

※ MAC アドレスは変更できません。

② IP アドレス

本商品の IP アドレスです。ネットワークに合わせて設定します。IP アドレスの値は「0」から「255」までの数字と「.（ピリオド)」で入力します（初期値：192.168.1.235)。

③サブネットマスク

本商品のサブネットマスクです。ネットワークに合わせて設定します。サブネットマスクの値は「0」から「255」までの数字と「.（ピリオド)」で入力します（初期値：255.255.255.0)。

④ゲートウェイ

本商品のデフォルトゲートウェイです。お使いのネットワークに合わせて設定します。デフォルトゲートウェイの値は「0」から「255」までの数字と「.（ピリオド)」で入力します（初期値：空欄)。

3.5.2　IPv6 ブリッジ

IPv6 ブリッジの有効 / 無効を選択できます。
IPv6 を使用する場合に設定します。

複数台のネットワーク機器での IPv6 通信はお勧めしません。

① IPv6 ブリッジ

有効：IPv6 ブリッジが有効です。
無効：IPv6 ブリッジが無効です（初期値）。

3.5.3　無線クライアント設定

ネットワーク名（SSID）やセキュリティなどの項目を設定できます。

①無線クライアント機能

802.11a/b/g/n の状態を表示します。
クライアント（子機）モードでは、常時「11a/b/g/n 有効」です。

② Wi-Fi Protected Setup

Wi-Fi Protected Setup を設定します。
☞ P.61「■　Wi-Fi Protected Setup」

③ 802.11a/b/g/n 設定

802.11a/b/g/n の通信を設定します。
☞ P.62「■　802.11a/b/g/n 設定」

④ 802.11a/b/g/n セキュリティ設定

802.11a/b/g/n のセキュリティを設定します。
☞ P.63「■　802.11a/b/g/n セキュリティ設定」

■ Wi-Fi Protected Setup

無線セキュリティを簡単に設定できる「Wi-Fi Protected Setup」の設定を表示します。Wi-Fi Protected Setup は対応機種のみ使用できます。通常は Web 設定画面で設定を変更する必要はありません。

① Wi-Fi Protected Setup

WPS の有効／無効を設定します。
有効：WPS は有効です（初期値）。
無効：WPS は無効です。

■ 802.11a/b/g/n 設定

無線 LAN を設定します。

通常は簡単設定で設定してください。

☞ P.41「2.5 簡単設定で接続する」

①ネットワーク名（SSID）

無線 LAN に接続する機器を識別するネットワークグループ名です。接続するすべての無線 LAN アダプタに同じ名前を設定します。32 文字以内の半角英数字または半角記号で入力してください。

また、「検索されたアクセスポイント」からネットワーク名（SSID）を選択することもできます（初期値：corega）。

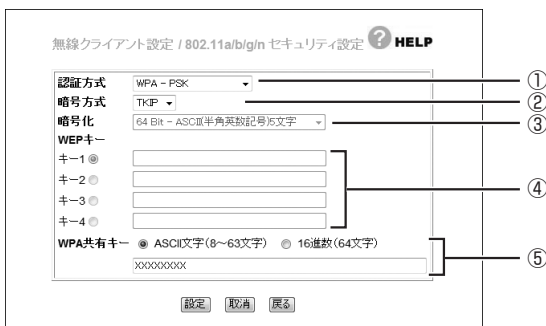
②接続可能なアクセスポイント

接続可能なアクセスポイントを表示します。

	ネットワーク名(SSID)	MAC(BSSID)	信号強度	セキュリティ	チャンネル	モード
○	000A79XXXXXX	XX:XX:XX:XX:XX:XX	86%	WPA/WPA2-PSK	1	gn
○	CG-Guest	XX:XX:XX:XX:XX:XX	100%	無効	6	g
○	corega	XX:XX:XX:XX:XX:XX	38%	無効	6	g
○	CG-Guest	XX:XX:XX:XX:XX:XX	100%	無効	11	g
◉	corega	XX:XX:XX:XX:XX:XX	100%	無効	36	a
○		XX:XX:XX:XX:XX:XX	72%	WPA/WPA2-PSK	44	an

■ 802.11a/b/g/n セキュリティ設定

アクセスポイントに合わせて無線 LAN のセキュリティを設定します。通常は簡単設定で設定してください。

☞ P.41「2.5　簡単設定で接続する」

①認証方式

無線 LANの認証方式を設定します。

・Open System

オープンシステム認証で接続します。②「暗号方式」は自動的に「無効」になります。

・Open/Shared（Auto）

オープンシステム認証またはシェアードキー認証で接続します。②「暗号方式」は自動的に「WEP」になります。WEP キーを使用します。

・WPA-PSK

WPA-PSK（パーソナル）で接続します。WPA 共有キーを使用します。②「暗号方式」は、「TKIP」または「AES」のどちらかを設定します。

・WPA2-PSK

WPA2-PSK（パーソナル）で接続します。WPA 共有キーを使用します。②「暗号方式」は、「TKIP」または「AES」のどちらかを設定します。

②暗号方式

無線 LAN の暗号方式を設定します。

- **無効**

  セキュリティを使用しません。①「認証方式」で「Open System」を設定したときのみ選択できます。

- **WEP**

  WEP で暗号化します。①「認証方式」で「Open/Shared（Auto）」を設定したときに WEP で暗号化できます。

- **TKIP、AES**

  AES または TKIP で暗号化します。①「認証方式」で「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を設定したときに、AES または TKIP で暗号化します。なお、①「認証方式」で「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を設定したときは、⑤「WPA 共有キー」の設定が必要です。

③暗号化

①「認証方式」で「Open/Shared（Auto）」を設定したときに、WEP の暗号強度を次のいずれかに設定します。

· 64Bit-16 進数（0-9/a-f）10 桁
· 128Bit-16 進数（0-9/a-f）26 桁
· 64Bit-ASCII（半角英数記号）5 文字
· 128Bit-ASCII（半角英数記号）13 文字

④ WEP キー

①「認証方式」で「Open/Shared（Auto）」を設定したときに、③「暗号化」で設定した強度に従って、WEP の暗号キーを設定します。暗号キーは「キー 1」から「キー 4」の 4 つを設定できますが、実際はチェックを付けたキーが使用されます。

⑤ WPA 共有キー

①「認証方式」で「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を設定したときに WPA 共有キーを設定します。通常は ASCII 文字を使用してください。

- **ASCII 文字**

  8文字以上63文字以内の半角英数字または半角記号で設定します。

- **16 進数**

  64 文字以内の 16 進数（0-9 と a-f の半角英数字）で設定します。

3.6　管理

ログイン名やパスワードなどを設定できます。

①管理者ログイン名

Web 設定画面のログイン名を変更します。設定変更後はこのログイン名で Web 設定画面にログインします（初期値：root）。

②管理者ログイン・パスワード

Web 設定画面のログイン・パスワードを設定します。空欄に設定した場合はパスワードを入力しなくても Web 設定画面にログインできます（初期値：空欄）。

③パスワードの確認

確認のため②「管理者ログイン･パスワード」で設定したパスワードを入力します。

④時間設定

本商品の時間を設定できます。

・**自動設定**

NTP サーバを検出して自動で時刻を設定します。

・**手動設定**

「年／月／日」の順に手動で設定します。

自動で時刻を合わせるには、「本体 IP」でゲートウェイを設定する必要があります。

☞ P.59「3.5.1　本体 IP」

⑤工場出荷時の状態へ戻す

本商品の設定を工場出荷時の初期設定に戻します。初期化の手順は、次の項目をご覧ください。

※実行する前に設定内容を控えておくことをお勧めします。

☞ P.147「6.3.6 工場出荷時の状態に戻したい」

⑥再起動

本商品を再起動します。再起動の手順は、次の項目をご覧ください。

☞ P.145「6.3.5 再起動したい」

⑦設定保存

現在の設定内容をファイルに保存できます。設定を保存する手順は、次の項目をご覧ください。

☞ P.141「6.3.4 設定を保存したい／元に戻したい」

⑧設定読込

⑦「設定保存」で保存した設定内容を読み込みます。設定を読み込む手順は、次の項目をご覧ください。

☞ P.141「6.3.4 設定を保存したい／元に戻したい」

⑨フロントLED

電源 LED 以外の本商品の前面 LED を消灯するエコピタ LED 消灯モードを設定できます。設定の手順は、次の項目をご覧ください。

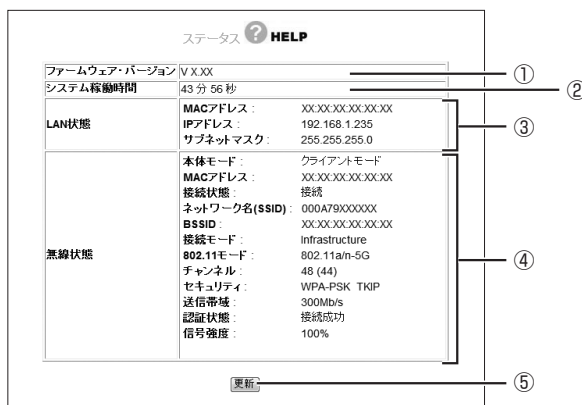
☞ P.134「6.3.2 エコピタ LED を設定したい」

⑩ファームウェア更新

本商品のファームウェアを更新できます。ファームウェアを更新する手順は、次の項目をご覧ください。

☞ P.135「6.3.3 最新のファームウェアを入手してアップデートしたい」

3.7　ステータス

本商品のステータスを表示します。

①ファームウェア・バージョン

ファームウェアのバージョンを表示します。

②システム稼働時間

連続稼働時間を表示します。再起動や初期化すると稼働時間はリセットされます。

③ LAN 状態

本商品の有線 LANの状態を表示します。

- **MAC アドレス**

  本商品の MAC アドレスを表示します。

- **IP アドレス**

  本商品の IP アドレスを表示します。

- **サブネットマスク**

  本商品のサブネットマスクを表示します。

④無線状態

本商品の無線 LANの状態を表示します。

- **本体モード**

  本商品の動作している状態を、クライアント（子機）モードまたはアクセスポイント（親機）モードで表示します。

・**MAC アドレス**

本商品の MAC アドレスを表示します。

・**接続状態**

アクセスポイント（親機）との接続状態を表示します。

・**ネットワーク名（SSID）**

無線 LAN のネットワーク名（SSID）を表示します。

・**BSSID**

無線 LAN の BSSID を表示します。

・**接続モード**

無線 LAN の接続モードを表示します。本商品はインフラストラクチャ（Infrastructure）に対応します。アドホック（Ad-Hoc）には対応しません。

・**802.11 モード**

無線 LAN の動作モードを、802.11a/b/g/n と周波数帯域で表示します。

・**チャンネル**

無線 LAN で使用しているチャンネルを表示します。ダブルチャンネルで使用しているチャンネルは、かっこで表示しています。

・**セキュリティ**

無線 LAN のセキュリティを表示します。

・**送信帯域**

無線 LAN の現在の転送速度を表示します。

・**認証状態**

アクセスポイント（親機）との認証状態を表示します。

・**信号強度**

無線 LAN の信号強度をパーセントで表示します。

⑤[更新]

最新の状態に更新します。

アクセスポイントモード

第 4 章
本商品の設置と設定

この章ではアクセスポイント（親機）モード時の本商品の設定手順について説明します。

4.1　本商品の確認

4.1.1　動作環境

本商品をアクセスポイント（親機）モードでお使いになる場合の動作環境は次のとおりです。

■対応する無線 LAN 機器

IEEE802.11n/a（W52/W53/W56）/b/g のいずれかの規格に対応しているネットワーク機器（パソコンやデジタル家電など）

本商品は、IEEE802.11a（J52）に対応していません。IEEE 802.11n/a（W52/W53/W56）または IEEE 802.11n/g/b に対応しています。n/a ⇔ n/g/b の切替タイプです。

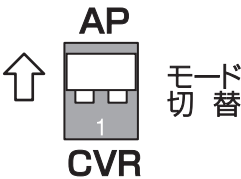
■設定の変更に必要な機器

本商品の設定を変更する場合は、次の条件を満たす設定用のパソコンが必要になります。

・LAN ポート（RJ-45）を装備している
・TCP/IP が組み込まれている
・Windows Vista（32bit）/XP（32bit）/2000、Mac OS X10.5/10.4 のいずれかの OS が動作している
・Internet Explorer（8.0/7.0/6.0）、Safari（3.0/2.0）がインストールされている

本商品は無線 LAN で設定することもできますが、本書ではお勧めしていません。有線 LAN で設定することをお勧めします。

4.1.2　動作モードの設定

本商品をアクセスポイント（親機）モードでお使いになる場合は、モード切替スイッチを次のとおりに設定します。設定が合っている場合は、変更する必要はありません。

モード切替スイッチは、必ず本商品の電源を切った状態で操作してください。

初期設定はクライアント（子機）モードです。

アクセスポイント（親機）モード時の動作状態は次のとおりです。

切替スイッチ	「AP」
動作モード	アクセスポイント（親機）
IP アドレス	192.168.1.230

動作モードの設定が完了したら、P.72「4.2　本商品の設置」に進みます。

4

4.2　本商品の設置

本商品をアクセスポイント（親機）モードで使用する場合の設置方法を説明します。

4.2.1　設置する前に

本商品を設置する前に、P.2「安全にお使いいただくためにお読みください」を必ずお読みください。
設置については、次の点にご注意ください。

- 電波を妨げないような場所に設置してください。
- AC アダプタのケーブルやLAN ケーブルに無理な力が加わるような配置は避けてください。
- テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本商品の上面と側面にある通気口をふさがないように設置してください。
- 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
- 本商品の上に物を置かないでください。
- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 本商品は屋外ではご使用になれません。
- コネクタの端子に触らないでください。静電気を帯びた手（体）でコネクタの端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。

4.2.2　設置方法

本商品にはゴム足が取り付けられていますので、そのまま机の上などの水平な場所に設置できます。
壁掛け用ネジセットを使用して壁面に取り付ける場合は、次の項目をご覧ください。

☞ P.164「**付録**　壁掛け用ネジセットで壁掛けする」

4.2.3　ネットワーク機器を接続する

本商品とパソコンやネットワーク機器の接続に使用できるLANケーブルの種類と接続方法を説明します。

■ LAN ケーブルについて

本商品に使用できる LAN ケーブルは次のとおりです。

・LAN ケーブルの種類

対応する通信規格（通信速度）によって、次の種類のLAN ケーブルを使用できます。

通信規格	LAN ケーブルの種類
1000BASE-T	エンハンスド・カテゴリ５以上のUTP ケーブル
100BASE-TX	カテゴリ５以上のUTP ケーブル
10BASE-T	カテゴリ３以上のUTP ケーブル

4

・LAN ケーブルの結線

本商品の LAN ポートは、Auto MDI/MDI-X に対応しています。ストレートケーブルまたはクロスケーブルのどちらの結線でも接続できます。

■ LAN ケーブルの接続方法

LAN ケーブルの接続手順は次のとおりです。

1　LAN ケーブルと本商品を接続します。

LAN ケーブルを本商品のLAN ポートに接続します。ケーブルはカチッと音がするまでしっかりと差し込みます。

2　LAN ケーブルをネットワーク機器に接続します。

本商品に接続したLANケーブルをパソコンやネットワーク機器、上位のネットワーク（ルータ付きモデムやスイッチングハブなどの既存のネットワーク）に接続します。

4.2.4　電源を入れる／電源を切る

本商品には電源スイッチがありません。AC アダプタを電源コンセントに接続すると本商品の電源が入ります。

- 必ず本商品に付属している AC アダプタをお使いください。付属の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
- 本商品に付属している AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。

■電源を入れる

次の手順で本商品の電源を入れます。

本商品の AC アダプタは、必ず AC100V の電源コンセントに接続してください。規格外の電源コンセントに接続すると、発熱による発火や、感電のおそれがあります。

1　**AC アダプタを接続します。**

AC アダプタの DC プラグを本体背面の DC ジャックに接続します。AC アダプタを AC100V の電源コンセントに接続します。

2　**電源 LED が点灯します。**

電源が入ると、電源 LED が点灯します。本商品が起動する間にステータス LED が点灯→消灯します。起動が完了するまで 2 分ほどお待ちください。

■電源を切る

本商品の電源を切るには、ACアダプタを電源コンセントから抜きます。

- AC アダプタを電源コンセントに接続したまま、DC プラグを抜かないでください。感電するおそれがあります。
- 電源を切った後に再び電源を入れる場合は、電源を切ってから 30 秒以上経過してから接続してください。連続で電源を切ったり入れたりすると、故障の原因となります。

4.3　本商品の設定方法

本商品は、WPS（Wi-Fi Protected Setup）による設定方法と、クライアント（子機）から手動で設定する方法の２とおりの設定方法を用意しています。それぞれ次の特長があります。

本商品に接続したいクライアント（子機）がWPS に対応している場合は、WPS で設定することをお勧めします。

■ WPS（Wi-Fi Protected Setup）

・簡単な手順でクライアント（子機）を本商品に接続できます
・WPA/WPA2-PSK による高いセキュリティが設定できます

クライアント（子機）が WPS に対応している必要があります。

クライアント（子機）がWPSに対応している場合は、WPS での設定をお勧めします。

☞ P.76「4.4　WPS ボタンで接続する」
☞ P.78「4.5　設定ユーティリティで接続する」

■手動設定

・WPS に対応していないクライアント（子機）も接続できます
・WPA-PSK に対応していないクライアント（子機）も接続できます

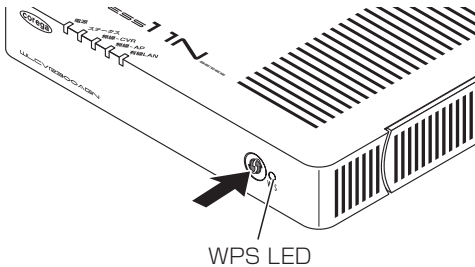
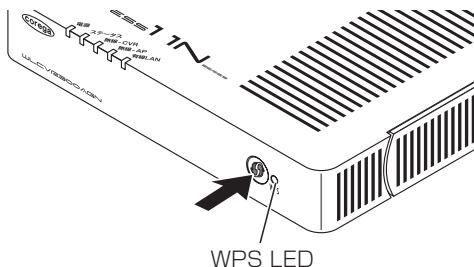
本商品の設定を変更する必要がある場合があります。

WPS や WPA-PSK に対応していないクライアント（子機）を接続する場合や、お使いのクライアント（子機）が対応するセキュリティがわからない場合は、手動で設定してください。

☞ P.81「4.6　Windows Vista で接続する」
☞ P.84「4.7　Windows XP で接続する」
☞ P.90「4.8　Macintosh で接続する」
☞ P.93「4.9　手動で接続する」

4.4　WPS ボタンで接続する

クライアント（子機）がWPS ボタンに対応している場合は、クライアント（子機）のWPS ボタンと、本商品の WPS ボタンを押すだけで簡単に無線 LAN を設定できます。
ここでは、本商品を 2 台使用して、1 台をクライアント（子機）モード、もう 1 台をアクセスポイント（親機）モードにした場合の接続を例に説明します。

1　アクセスポイントのWPSボタンを2秒以上押して離し、WPS LED が点滅することを確認します。

2　クライアントの WPS ボタンを 2 秒以上押して離し、WPS LED が点滅することを確認します。

3　アクセスポイントの検索が始まります。

- 信号を受信しやすいように近づけてください。
- 約 2 分間検索しますが、環境によっては検索に時間がかかる場合があります。

4　設定が完了します。

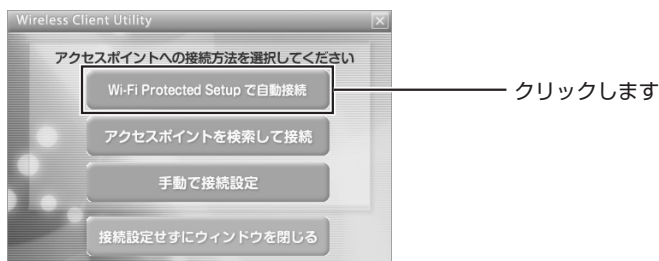
LED の表で動作を確認して、アクセスポイント（親機）モードの本商品の WPS LED が設定完了の動作になり、クライアント（子機）モードの本商品の WPS LED が消灯して再起動すると、WPS での設定が完了します。

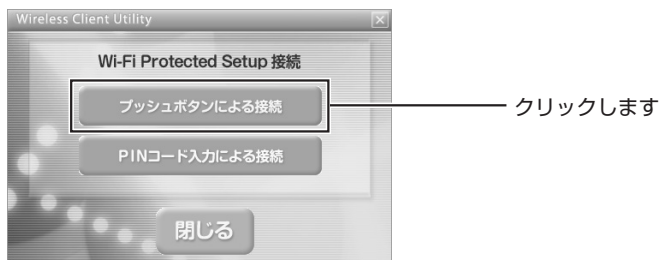
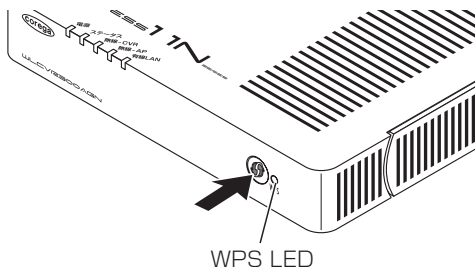
LED の表で、設定完了の動作にならない場合は、WPS LED が消灯したあとに、はじめからやり直してください。

以上で設定は完了です。
ネットワークに接続できることを確認してください。

4.5　設定ユーティリティで接続する

WPS に対応したクライアント（子機）をお使いの場合は、設定ユーティリティで設定します。
ここでは、クライアントに WPS 対応のコレガ無線 LAN ユーティリティを使用して、本商品に接続する手順を例に説明します。

1　[Wi-Fi Protected Setup で自動接続] をクリックします。

「Wi-Fi Protected Setup で自動接続」の表示方法は、各クライアント（子機）の「無線クライアントユーティリティ詳細設定ガイド（PDF マニュアル)」をご覧ください。

2　[プッシュボタンによる接続] をクリックします。

3　**本商品の WPS ボタンを 2 秒以上押して離し、WPS LED が点滅することを確認します。**

WPS LED の動作は次の表を参考にしてください（数字はおよその秒数を表します）。

4　**設定ユーティリティ画面上の「Wi-Fi PROTECTED SETUP」をクリックします。**

5　**アクセスポイントの検索が始まります。**

・信号を受信しやすいように、本商品とクライアント（子機）を近づけてください。
・約２分間検索しますが、環境によっては検索に時間がかかる場合があります。

6　設定が完了します。

LED の表で動作を確認して、本商品の WPS LED が設定完了の動作になれば WPS での設定が完了します。

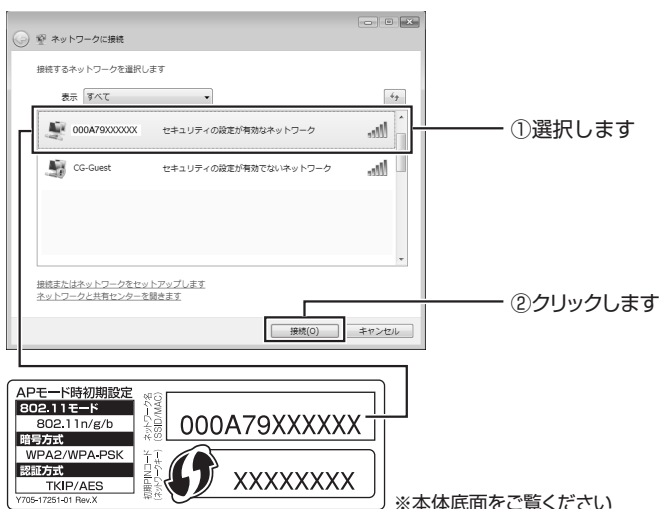
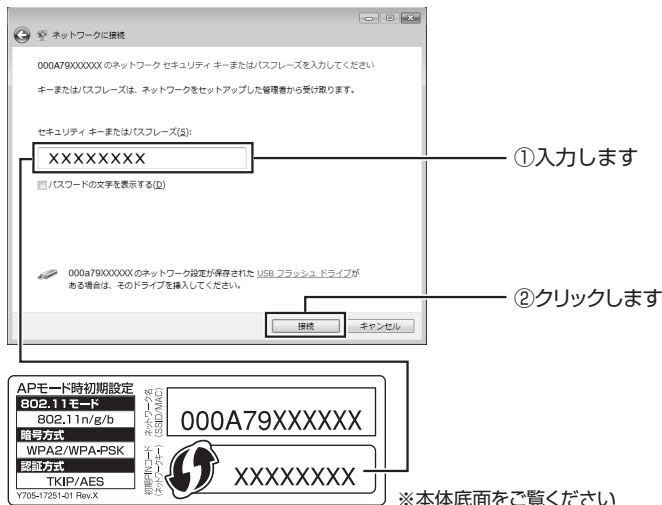
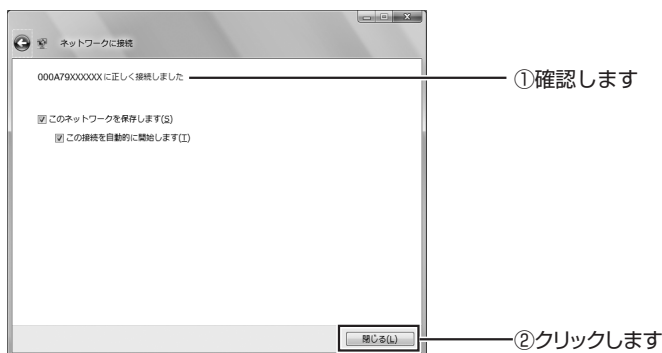
LED の表で、設定完了の動作にならない場合は、WPS LED が消灯したあとに、はじめからやり直してください。

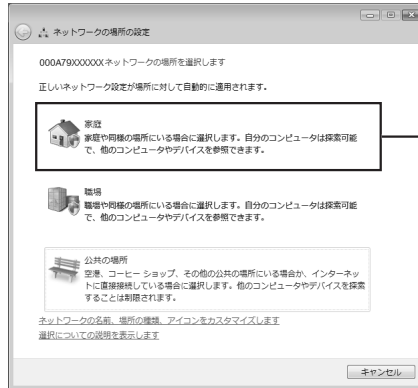
以上で、設定は完了です。
ネットワークに接続できることを確認してください。

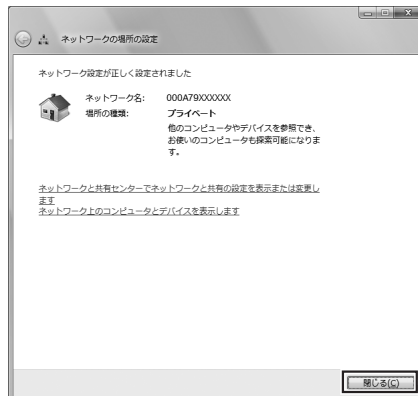
4.6　Windows Vista で接続する

WPS に対応していないクライアント（子機）は、手動で本商品に接続します。ここでは Windows Vista での接続手順を説明します。

1　［スタート］－「接続先」の順にクリックします。

2　一覧から本商品の「ネットワーク名（SSID/MAC）」を選択し、［接続］をクリックします。

3 「初期 PIN コード（ネットワークキー）」を入力し、[接続] をクリックします。

4 「000A79XXXXXXに正しく接続しました」(000A79XXXXXX は手順 2 で選択したネットワーク名）と表示されたことを確認し、[閉じる] をクリックします。

「このネットワークを保存する」および「この接続を自動的に開始します」にチェックを付けると、パソコンを起動したときに自動的にネットワーク接続します。

5　次の画面が表示される場合は、「家庭」を選択します。

6　「ユーザーアカウント制御」画面で、[続行] をクリックします。

7　「ネットワーク設定が正しく設定されました」と表示されます。[閉じる] をクリックします。

以上で、設定は完了です。
ネットワークに接続できることを確認してください。

4.7　Windows XP で接続する

WPS に対応していないクライアント（子機）は、手動で本商品に接続します。ここでは Windows XP での接続手順を説明します。

4.7.1　接続の前に

次の手順で Windows XP の「ワイヤレスネットワーク」が有効になっていることを確認します。

1　［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。

2　「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

クラシック表示の場合は、「ネットワーク接続」をダブルクリックして、手順 4 に進みます。

3　「ネットワーク接続」をクリックします。

4　「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

5　ワイヤレスネットワークタブをクリックし、「Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックを付けて、「優先ネットワーク」に表示された必要でないネットワークを削除してから［OK］をクリックします。

お使いのパソコンでメーカ独自の無線接続ソフトを使用している場合、「Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する」の項目がないことがあります。そのときは、P.93「4.9　手動で接続する」の情報をもとに本商品に接続してください。詳しくは、パソコンのメーカにお問い合わせください。

お使いのパソコンで、すでに本商品以外で無線 LAN 接続をしていて、今後も継続してお使いになる場合は、その項目を残し、それ以外の必要でない項目をすべて削除するまで③～④を繰り返します。

4.7.2 接続の手順

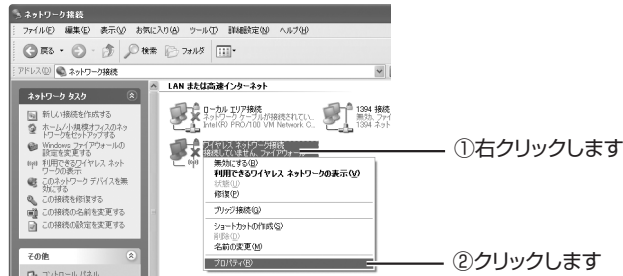
引き続き、次の手順で本商品と接続します。

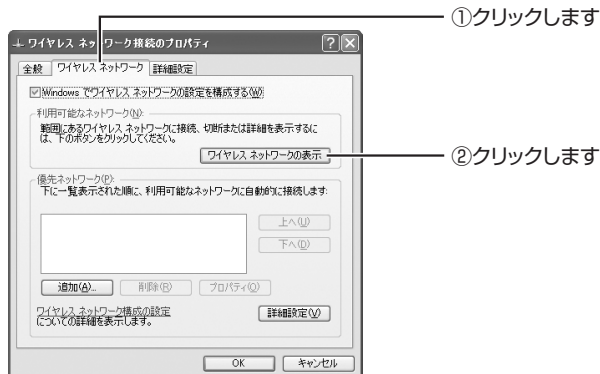
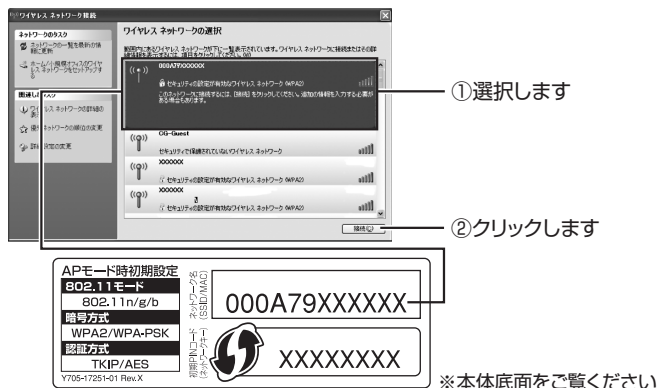
1 ［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

クラシック表示の場合は、「ネットワーク接続」をダブルクリックして、手順 4に進みます。

3　「ネットワーク接続」をクリックします。

4　「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

5　ワイヤレスネットワークタブをクリックし、[ワイヤレスネットワークの表示] をクリックします。

4

6 一覧から本商品の「ネットワーク名（SSID/MAC)」を選択し、［接続］をクリックします。

7 ネットワークキーに「初期 PIN コード（ネットワークキー)」を入力し、［接続］をクリックします。

8　手順６で選択したネットワーク名に「接続」と表示されたことを確認します。

以上で、設定は完了です。

ネットワークに接続できることを確認してください。

4

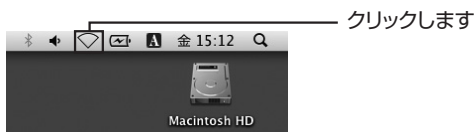
4.8　Macintosh で接続する

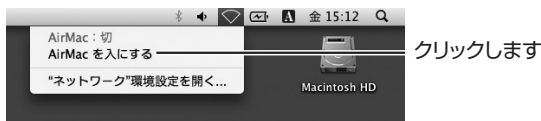
WPS に対応していないクライアント（子機）は、手動で設定して本商品に接続します。ここでは Macintosh の内蔵無線 LAN（AirMac）での接続手順を説明します。

画面は Mac OS X 10.5 の例です。お使いの環境によって画面が異なります。

4.8.1　接続の前に

次の手順で Macintosh の AirMac が有効になっていることを確認します。

1　画面右上のタスクバーの　アイコンをクリックします。

クリックします

2　「AirMac を入にする」をクリックします。

クリックします

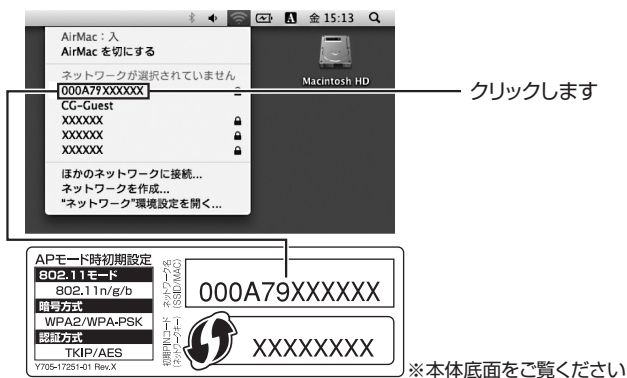
以上で、AirMac が有効になりました。

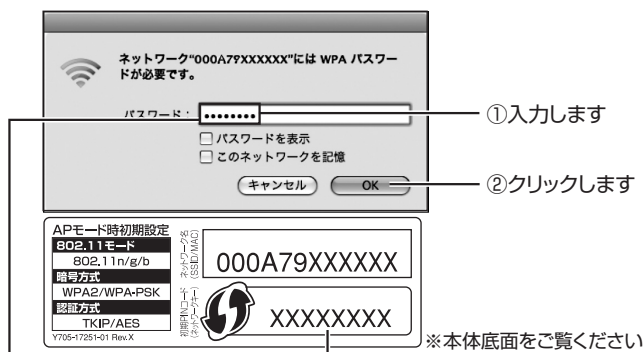
4.8.2　接続の手順

引き続き、次の手順で本商品と接続します。

1　画面右上のタスクバーの　アイコンをクリックします。

クリックします

2 **一覧から本商品の「ネットワーク名（SSID/MAC）」をクリックします。**

3 **「パスワード」に「初期 PIN コード（ネットワークキー）」を入力し、[OK] をクリックします。**

Mac OS X 10.4 の場合は、「ワイヤレスセキュリティ」で「WPA パーソナル」を選択し、「パスワード」に「初期 PIN コード（ネットワークキー）」を入力して、[OK] をクリックします。

4 接続が完了すると アイコンになります。

5 画面右上のタスクバーの アイコンをクリックします。

6 手順2で選択したネットワーク名にチェックが付いていることを確認します。

以上で設定は完了です。
ネットワークに接続できることを確認してください。

4.9　手動で接続する

パソコンメーカや周辺機器メーカ独自の無線LAN設定ユーティリティで設定する場合は、次の項目を設定してください。

①	**ネットワーク名（SSID）**	本体底面の「ネットワーク名」に記載
②	**ネットワーク認証**	WPA2 / WPA-PSK
③	**データの暗号化**	TKIP/ AES
④	**ネットワークキー**	本体底面の「初期 PIN コード」に記載

設定完了後、各設定ユーティリティで無線電波を確認して、ネットワークに接続できることを確認してください。

4

アクセスポイントモード

第 5 章
設定画面の詳細説明

この章では、アクセスポイント（親機）モード時の本商品の設定画面で設定できる機能について説明します。

5

5.1 Web 設定画面を表示する

本章では、アクセスポイント（親機）モード時の Web 設定画面について説明します。本商品をお使いになって、「もっと使いこなしたい」、「設定の詳しい情報が知りたい」と思ったときにご覧ください。

5.1.1 設定用パソコンを接続する

Web 設定画面を表示するために、次の手順で設定用パソコンを接続します。

設定用パソコンに設定されていた内容は、設定変更前にメモに控えておいてください。あとでパソコンの設定を元に戻す際に必要になります。

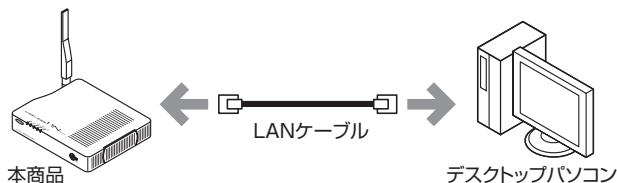
1 設定用パソコンを準備します。

設定用パソコンの IP アドレスを、次のとおりに設定します。

IP アドレス	192.168.1.123 ※ 192.168.1.230 を除く、192.168.1.1 ～ 192.168.1.254 の範囲で設定できますが、ここでは 192.168.1.123 を例に説明します。
サブネットマスク	255.255.255.0

☞ P.153「6.3.9 パソコンの IP アドレスを設定したい」
☞ P.122「6.2.2 Web 設定画面が表示されない」

2 本商品に設定用パソコンを接続します。

設定用パソコンと本商品を、LAN ケーブルで接続します。

5.1.2　Web 設定画面を表示する

次の手順で本商品の Web 設定画面を表示します。

あらかじめ、本商品のモード切替スイッチが「AP」になっていることを確認してください。

☞ P.71「4.1.2 動作モードの設定」

1　**Web 設定画面を表示します。**

Web ブラウザを起動し、アドレスに「192.168.1.230」と入力して、Web 設定画面を表示します。

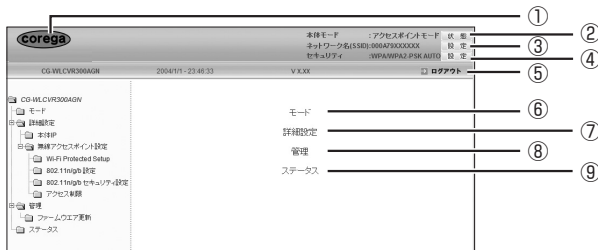
2　**ユーザ名に「root」と入力し、[ログイン] をクリックして、Web 設定画面にログインします。**

3　**Web 設定画面が表示されます。**

本商品の設定が終了したら、設定用パソコンの IP アドレスを元に戻してください。

☞ P.153「6.3.9 パソコンのIPアドレスを設定したい」

5.2　Web 設定画面の全体構成

本商品の Web 設定画面のトップページです。画面左側のメニューや画面中央のメニューで各種設定画面を表示するほか、重要な情報を表示します。

※画面は 802.11n/g/b モードの場合の例です。

①コレガロゴ

インターネット接続時にクリックすると、コレガホームページを表示します。

②本体モード

現在の動作モードを表示します。

［状態］をクリックすると、本商品のステータスを表示します。

☞ **P.117**「5.6　ステータス」

③ネットワーク名（SSID）

現在のネットワーク名（SSID）を表示します。

［設定］をクリックすると、無線 LAN の設定画面を表示します。

☞ **P.105**「■ 802.11n/g/b 設定／ 802.11n/a 設定」

④セキュリティ

現在のセキュリティ設定を表示します。

［設定］をクリックすると、無線 LAN のセキュリティ設定画面を表示します。

☞ **P.111**「■　802.11n/g/b セキュリティ設定／802.11n/a セキュリティ設定」

⑤[ログアウト]

クリックすると Web 設定画面からログアウトします。再度、Web 設定画面を表示するには、ログアウト画面で［再ログイン］をクリックします。

⑥モード

本商品の動作モードを設定できます。

☞ **P.100**「5.3　モード」

⑦詳細設定

アクセスポイント（親機）の詳細な項目を設定します。

☞ P.101「5.4　詳細設定」

⑧管理

本商品の管理者ログイン名やパスワードなどを設定できます。

☞ P.115「5.5　管理」

⑨ステータス

本商品のステータスを表示します。

☞ P.117「5.6　ステータス」

・本章では例を使用して説明しています。実際にはお使いの環境に合った値を入力してください。
・各画面にある「HELP」をクリックすると、設定項目の説明が表示されます。
・各画面にある［設定］をクリックすると、現在の内容を本商品に設定します。
・各画面にある［取消］をクリックすると、設定中の内容を取り消します。
・各画面にある［戻る］をクリックすると、1 階層上の画面に戻ります。

5

5.3　モード

本商品の動作モードを設定できます。

①本体モード

本商品の動作モードを表示します。

- **アクセスポイントモード**

  アクセスポイント（親機）として動作しています。

②無線アクセスポイント機能

無線アクセスポイント機能の有効／無効を設定します。

- **無線アクセス無効**

  無線アクセスポイント機能を使用しません。

- **無線アクセス 802.11n/a 有効**

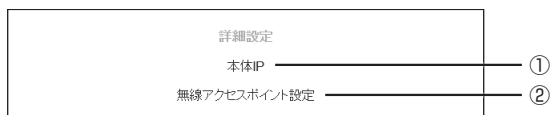
  802.11n/a の無線アクセスポイント機能を使用します。

- **無線アクセス 802.11n/g/b 有効**

  802.11n/g/b の無線アクセスポイント機能を使用します（初期値）。

アクセスポイント（親機）モードの 802.11a は、W52/W53/W56 に対応しています。

5.4　詳細設定

アクセスポイント（親機）モード時の本商品の詳細な項目を設定できます。

①本体 IP

本商品の IP アドレスを設定します。

☞ **P.102**「5.4.1　本体 IP」

②無線アクセスポイント設定

本商品の無線 LAN を設定します。

☞ **P.103**「5.4.2　無線アクセスポイント設定」

5.4.1　本体 IP

本商品の IP アドレスを設定できます。

①MAC アドレス

本商品の MAC（Media Control Access）アドレスを表示します。

※MAC アドレスは変更できません。

②IP アドレス

本商品の IP アドレスです。ネットワークに合わせて設定します。IP アドレスの値は「0」から「255」までの数字と「.（ピリオド）」で入力します（初期値：192.168.1.230）。

③サブネットマスク

本商品のサブネットマスクです。ネットワークに合わせて設定します。サブネットマスクの値は「0」から「255」までの数字と「.（ピリオド）」で入力します（初期値：255.255.255.0）。

④ゲートウェイ

本商品のデフォルトゲートウェイです。お使いのネットワークに合わせて設定します。デフォルトゲートウェイの値は「0」から「255」までの数字と「.（ピリオド）」で入力します（初期値：空欄）。

5.4.2　無線アクセスポイント設定

ネットワーク名（SSID）やセキュリティなど、無線アクセスポイントの機能を設定します。

本商品の無線アクセスポイント機能が無効の場合は表示されません。

※画面は 802.11n/g/b モードの場合の例です。

①無線アクセスポイント機能

有効になっている 802.11 モードを表示します。

② Wi-Fi Protected Setup

Wi-Fi Protected Setup を設定します。

☞ P.104「■ Wi-Fi Protected Setup」

③ 802.11n/g/b 設定／ 802.11n/a 設定

802.11n/g/b または 802.11n/a の通信を設定します。

☞ P.105「■ 802.11n/g/b 設定／ 802.11n/a 設定」

④ 802.11n/g/b セキュリティ設定／ 802.11n/a セキュリティ設定

802.11n/g/b または 802.11n/a のセキュリティを設定します。

☞ P.111「■ 802.11n/g/b セキュリティ設定／ 802.11n/a セキュリティ設定」

⑤アクセス制限

無線端末（クライアント）の MAC アドレスによるアクセスの制限を設定します。

☞ P.114「■ アクセス制限」

■Wi-Fi Protected Setup

無線セキュリティを簡単に設定できる「Wi-Fi Protected Setup」の設定を表示します。Wi-Fi Protected Setupは対応機種のみ使用できます。通常はWeb設定画面で設定を変更する必要はありません。
Wi-Fi Protected Setup で無線セキュリティを設定する場合は、P.69「**第４章** 本商品の設置と設定」またはWi-Fi Protected Setup対応機種に付属の「無線クライアントユーティリティ　詳細設定ガイド（PDFマニュアル)」をご覧ください。

○Wi-Fi Protected Setup　有効時

○Wi-Fi Protected Setup　無効時

①Wi-Fi Protected Setup

WPSの有効／無効を設定します。
有効：WPSは有効です（初期値)。
無効；WPSは無効です。

■ 802.11n/g/b 設定／ 802.11n/a 設定

802.11n/g/b または 802.11n/a を設定します。

○ 802.11n/g/b の場合

①ネットワーク名（SSID）

無線 LAN に接続する機器を識別するネットワークグループ名です。接続するすべての無線 LAN アダプタに同じ名前を設定します。32 文字以内の半角英数字または半角記号で入力してください。

工場出荷時の SSID は本商品底面の「ネットワーク名（SSID/MAC)」に記載されています。

②モード

802.11 の動作モードを設定できます。

- **802.11n/g**

  802.11n または 802.11g を使用します（初期値)。
  802.11b では接続できません。

- **802.11g/b**

  802.11g または 802.11b のみを使用します。
  802.11n では接続できません。

- **802.11b**

  802.11b のみを使用します。
  802.11n、802.11g では接続できません。

③ダブルチャンネル

2 つのチャンネルを束ねて 40MHz 幅で使用するダブルチャンネルを設定します。

ダブルチャンネルを使用することで、従来の無線 LAN アダプタやほかの電子機器との電波干渉により、パフォーマンスが低下する場合があります。お使いの環境に合わせて設定してください。

・**自動**

40MHz 幅のダブルチャンネルに対応した子機を使用している場合には 40MHz 幅で通信し、20MHz 幅に対応した子機を使用している場合には 20MHz 幅で通信します。ダブルチャンネルを自動にすると、「拡張チャンネル」が表示されます。「拡張チャンネル」の値は、④「チャンネル」の設定に合わせて自動的に設定されます。

・**無効**

ダブルチャンネルを使用しない20MHz幅で通信します（初期値）。

☞ **P.130**「6.3.1 300Mbps（理論値）で通信したい」

④チャンネル

使用する電波の周波数（無線チャンネル）を設定します。本商品を複数台設定する場合や、周辺の電波と混信するような場合に変更してください。

・**自動設定**

空きチャンネル自動検索機能で最適なチャンネルを自動に設定します（初期値）。

・**1 ～ 13**

チャンネルを指定したい場合に 1 ～ 13 チャンネルのいずれかを選択します。

※通常は「自動設定」から変更する必要はありません。

ダブルチャンネルを「自動」にしている場合は、1 ～ 11 チャンネルで選択できます。

⑤転送レート

無線 LAN の通信速度を設定できます（初期値：自動設定）。

※通常は「自動設定」から変更する必要はありません。

⑥ショートガードインターバル

信号間のガードインターバルを短くすることで、802.11n の通信効率を向上させます。ダブルチャンネルと併用して、300Mbps（理論値）の通信速度に対応します。

ショートガードインターバルに対応していないほかの通信機器のパフォーマンスが低下する場合があります。

☞ **P.130**「6.3.1　300Mbps（理論値）で通信したい」

⑦ステルス AP

本商品の SSID を検索されないようにしたり、SSID を「ANY」や空白にしているパソコンからのアクセスを拒否できます。

- **有効**
  ステルス AP は有効です。
- **無効**
  ステルス AP は無効です（初期値）。

⑧電波強度

本商品の電波出力の強度を「最大」、「50%」、「25%」、「12.5%」、「最小」から選択できます（初期値：最大）。

※ 通常は変更する必要はありません。

⑨ビーコン間隔

アクセスポイントが常に発信する、アクセスポイントの情報の入ったショートパケット（ビーコン）の送信間隔を「20 ～ 999」で設定できます（初期値：100）。

※ 通常は変更する必要はありません。

⑩ RTS しきい値

無線 LAN のパケットを送信する前に送信する RTS（送信要求）パケットのしきい値を「256 ～ 2346」で設定できます（初期値：2346）。

※ 通常は変更する必要はありません。

⑪パケット分割のしきい値

無線 LANのパケットを分割するしきい値を「256 ～ 2346」で設定できます（初期値：2346）。

※ 通常は変更する必要はありません。

5

○802.11n/a の場合

①ネットワーク名（SSID）

802.11n/g/b 設定と同じ内容です。

②モード

802.11 の動作モードを表示します。802.11a/n の場合、802.11n または 802.11a を使用します。

※設定は変更できません。

③使用エリア

お使いのパソコンを使用する場所によって設定を変更します。

- **本商品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。**
- **IEEE802.11a（W52/W53）は電波法により屋外で使うことを禁止されています。屋外のパソコンから本商品に無線で接続する場合は、「使用エリア」を「屋外」に設定してください。**

・**屋内**

802.11n/a を使用した屋内のパソコンから本商品に接続する場合に選択します（初期値）。チャンネルは、W52/W53/W56 の中から使用します。

・**屋外**

802.11n/a を使用した屋外のパソコンから本商品に接続する場合に選択します。チャンネルは、W56 の中から使用します。

☞ P.6 「無線製品をご利用の際のご注意」

④ダブルチャンネル

2 つのチャンネルを束ねて 40MHz 幅で使用するダブルチャンネルを設定します。

ダブルチャンネルを使用することで、従来の無線 LAN アダプタやほかの電子機器との電波干渉により、パフォーマンスが低下する場合があります。お使いの環境に合わせて設定してください。

・**自動**

40MHz 幅のダブルチャンネルに対応した子機を使用している場合には 40MHz 幅で通信し、20MHz 幅に対応した子機を使用している場合には 20MHz 幅で通信します。ダブルチャンネルを自動にすると、「拡張チャンネル」が表示されます。「拡張チャンネル」の値は、⑤「チャンネル」の設定に合わせて自動的に設定されます。

・**無効**

ダブルチャンネルを使用しないで、20MHz 幅で固定します（初期値）。

⑤チャンネル

使用する電波の周波数（無線チャンネル）を設定します。本商品を複数台設定する場合や、周辺の電波と混信するような場合に変更してください。

・**自動設定**

空きチャンネル自動検索機能で最適なチャンネルを自動で設定します（初期値）。

・**36 ～ 140**

チャンネルを指定したい場合に 36/40/44/48/52/56/60/64/100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140 チャンネルのいずれかを選択します。

※ 通常は「自動設定」から変更する必要はありません。

ダブルチャンネルを「自動」にしている場合は、36 ～ 136 チャンネルから選択できます。

⑥転送レート

「802.11n/a」の場合、転送レートは変更できません。

⑦ショートガードインターバル

信号間のガードインターバルを短くすることで、802.11n の通信効率を向上させせます。ダブルチャンネルと併用して、300Mbps（理論値）の通信速度に対応します。

ショートガードインターバルに対応していないほかの通信機器のパフォーマンスが低下する場合があります。

☞ **P.130**「6.3.1　300Mbps（理論値）で通信したい」

⑧ステルス AP

802.11n/g/b 設定と同じ内容です。

⑨電波強度

802.11n/g/b 設定と同じ内容です。

⑩ビーコン間隔

802.11n/g/b 設定と同じ内容です。

⑪ RTS しきい値

802.11n/g/b 設定と同じ内容です。

⑫パケット分割のしきい値

802.11n/g/b 設定と同じ内容です。

■802.11n/g/bセキュリティ設定／802.11n/aセキュリティ設定

無線 LAN セキュリティを設定します。

※画面は 802.11n/g/b モードの場合の例です。

①認証方式

無線 LANの認証方式を設定します。

・Open System

オープンシステム認証で接続します。②「暗号方式」は「無効」または「WEP」のどちらかを設定します。

・Shared Key

シェアードキー認証で接続します。②「暗号方式」は自動的に「WEP」になります。WEPキーの設定が必要です。

・WPA2-PSK

WPA2-PSK（パーソナル）で接続します。②「暗号方式」は、「AES」になります。WPA 共有キーの設定が必要です。

・WPA/WPA2-PSK

WPA2-PSK（パーソナル）またはWPA-PSK（パーソナル）で接続します。②「暗号方式」は、「自動（AES/TKIP)」または「AES」のいずれかを設定します。WPA 共有キーの設定が必要です。
無線クライアントは WPA2-PSK と WPA-PSK のどちらでも接続できます。

②暗号方式

無線 LAN の暗号方式を設定します。

・**無効**

セキュリティを使用しません。①「認証方式」で「Open System」を設定したときのみ選択できます。

・**WEP**

WEP で暗号化します。①「認証方式」で「Open System」、「Shared Key」を設定したときに選択できます。

・**自動（AES/TKIP）**

AES または TKIP で暗号化します。①「認証方式」で「WPA/WPA2-PSK」を設定したときに選択できます。

・**AES**

AES で暗号化します。①「認証方式」で「WPA2-PSK」または「WPA/WPA2-PSK」を設定したときに選択できます。

③暗号化

②「暗号方式」で「WEP」を設定したときに、WEP の暗号強度を次のいずれかに設定します。

· 64Bit-16 進数（0-9/a-f）10 桁
· 128Bit-16 進数（0-9/a-f）26 桁
· 64Bit-ASCII（半角英数記号）5 文字
· 128Bit-ASCII（半角英数記号）13 文字

④ WEP キー

②「暗号方式」で「WEP」を設定したときに、③「暗号化」で設定した強度に従って、「キー 1」に WEP の暗号キーを設定します。暗号キーは「キー 1」から「キー4」の 4 つを設定しておくことができますが、実際に使用する暗号キーは 1 つだけです。チェックを付けたキーが使用されます。

⑤ WPA 共有キー

①「認証方式」で「WPA2-PSK」または「WPA/WPA2-PSK」を設定したときに WPA 共有キーを設定します。共有キーは ASCII 文字または 16 進数のどちらかの入力方法を選択できますが、通常は ASCII 文字を使用してください。

・ASCII 文字

8 文字以上 63 文字以内の半角英数字または半角記号で設定します。

・16 進数

64 文字以内の 16 進数（0-9 、a-f の半角英数字）で設定します。

⑥ DTIM

DTIM（配信トラフィック・インディケータ・メッセージ）の通信間隔の値を設定します（初期値：1）。

※ 通常は変更する必要がありません。

⑦更新間隔

⑤「WPA 共有キー」を更新する間隔を指定します。更新間隔を短くすると安全性は高くなりますが、通信速度は低下します（初期値:300秒）。

⑧[セキュリティ情報書出し]

無線 LANのセキュリティ情報をまとめて表示します。

5

■アクセス制限

①MAC アドレスフィルタリング

MAC アドレスを登録した無線クライアント（子機）のみ本商品に接続できる MAC アドレスフィルタリングを設定できます。

- **有効**

  MAC アドレスフィルタリング機能を有効にします。MAC アドレス登録リストに登録した無線クライアント（子機）のみ接続できます。

- **無効**

  MAC アドレスフィルタリング機能を無効にします。すべての無線クライアント（子機）の接続を許可します（初期値）。

②MAC アドレス

接続を許可したい無線クライアント（子機）の MAC アドレスを入力して［追加］をクリックすると、MAC アドレス登録リストに追加します。

③MAC アドレス登録リスト

本商品に接続できる無線クライアント（子機）の一覧です。

5.5　管理

ログイン名やパスワードなどを設定できます。

①管理者ログイン名

Web 設定画面のログイン名を変更します。設定変更後はこのログイン名で Web 設定画面にログインします（初期値：root）。

②管理者ログイン・パスワード

Web 設定画面のログイン・パスワードを設定します。空欄に設定した場合はパスワードを入力しなくても Web 設定画面にログインできます（初期値：空欄）。

③パスワードの確認

確認のため②管理者ログイン・パスワードで設定したパスワードを入力します。

④時間設定

本商品の時間を設定します。

・**自動設定**

NTP サーバを検出して自動で時刻を設定します。

・**手動設定**

手動で「年／月／日」の順に設定します。

自動で時刻を合わせるには、「本体 IP」でゲートウェイを設定する必要があります。

☞ P.102「5.4.1　本体 IP」

5

⑤工場出荷時の状態へ戻す

本商品の設定を工場出荷時の初期設定に戻します。初期化の手順は、次の項目をご覧ください。

☞ **P.147**「6.3.6 工場出荷時の状態に戻したい」

⑥再起動

本商品を再起動します。再起動の手順は、次の項目をご覧ください。

☞ **P.145**「6.3.5 再起動したい」

⑦設定保存

現在の設定内容をファイルに保存できます。設定を保存する手順は、次の項目をご覧ください。

☞ **P.141**「6.3.4 設定を保存したい／元に戻したい」

⑧設定読込

⑦「設定保存」で保存した設定内容を読み込みます。設定を読み込む手順は、次の項目をご覧ください。

☞ **P.141**「6.3.4 設定を保存したい／元に戻したい」

⑨フロントLED

電源 LED 以外の本商品の前面 LED を消灯するエコピタ LED 消灯モードを設定できます。設定の手順は次の項目をご覧ください。

☞ **P.134**「6.3.2 エコピタ LED を設定したい」

⑩ファームウェア更新

本商品のファームウェアを更新できます。ファームウェアを更新する手順は、次の項目をご覧ください。

☞ **P.135**「6.3.3 最新のファームウェアを入手してアップデートしたい」

5.6　ステータス

本商品のステータスを表示します。

※画面は 802.11n/g/b モードの場合の例です。

①ファームウェア・バージョン

ファームウェアのバージョンを表示します。

②システム稼働時間

連続稼働時間を表示します。再起動や初期化すると稼働時間はリセットされます。

③ LAN 状態

本商品の有線 LANの状態を表示します。

・MAC アドレス

本商品の MAC アドレスを表示します。

・IP アドレス

本商品の IP アドレスを表示します。

・サブネットマスク

本商品のサブネットマスクを表示します。

④無線状態

本商品の無線 LANの状態を表示します。

・本体モード

本商品の動作している状態を、クライアント（子機）モードまたはアクセスポイント（親機）モードで表示します。

・MAC アドレス

本商品の MAC アドレスを表示します。

・**モード**

無線 LAN の動作モードを 802.11n/g、802.11g/b、802.11b、802.11n/a で表示します。

・**セキュリティ**

無線 LAN のセキュリティの状態を表示します。

・**チャンネル**

無線 LAN で使用しているチャンネルを表示します。

・**ネットワーク名（SSID）**

無線 LAN のネットワーク名（SSID）を表示します。

・**状態**

無線アクセスポイント機能の有効／無効を表示します。

⑤[更新]

最新の状態に更新します。

第 6 章
トラブル解決と Q&A

この章では、本商品を使用するときのトラブル解決と Q&A について説明します。

6.1 トラブル対処の方法

本商品を使っていて困ったときは、次のステップに従って対処方法を確認してください。

STEP1	**「取扱説明書」（本書）で設定を再確認する** **管理者などに問い合わせる**

それでも解決できないときは…

STEP2	**本章の「トラブル解決と Q&A」を確認する** ☞ P.121「6.2 トラブルシューティング」 ☞ P.130「6.3 よくあるご質問」

それでも解決できないときは…

STEP3	**コレガホームページ（http://corega.jp/）の情報を活用する** 本商品の最新情報、よくあるお問い合わせ、最新のファームウェアなどを提供しています。

それでも解決できないときは…

STEP4	**コレガサポートセンタに問い合わせる** 連絡先は本書の裏表紙をご覧ください。

6.2　トラブルシューティング

よくあるトラブルと対処方法を説明します。

6.2.1　電源が入らない

電源が入らないときは、次の内容を確認してください。

現象	・電源が入らない ・電源 LED が点灯しない
対処方法	**AC アダプタを確認する** AC アダプタのケーブルに断線がないか、AC アダプタが正しく接続されているか、正しい電源・電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。 それでも電源が入らない場合は、本商品に問題がある可能性があります。次の項目をご覧になり修理を依頼してください。 ☞ P.169 「■修理について」

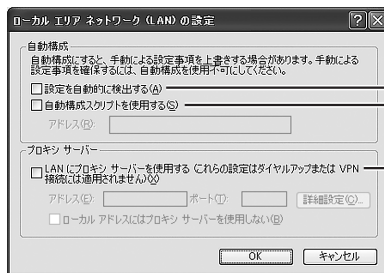
6.2.2 Web 設定画面が表示されない

Web 設定画面が表示されないときは、次の内容を確認してください。

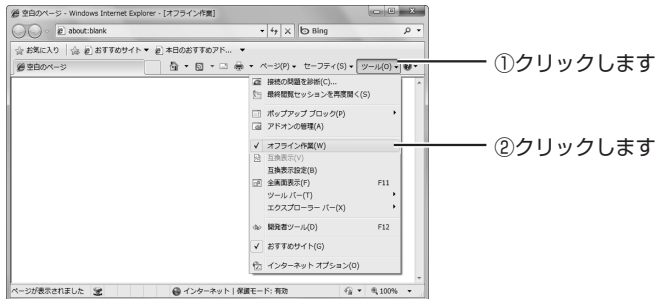
<table>
<tr><td>現象</td><td>・本商品に接続できない
・本商品のログイン画面、Web 設定画面が表示されない
・設定できない</td></tr>
<tr><td>対処方法 1</td><td>パソコンの IP アドレスを固定にする
設定用パソコンのネットワーク設定を変更して、本商品と設定用パソコンを直接 LAN ケーブルで接続してください。
本商品の工場出荷時の IP アドレスとサブネットマスクは次のとおりです。
<table>
<tr><td>IP アドレス</td><td>192.168.1.235（クライアントモード時）</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td>255.255.255.0</td></tr>
</table>
設定用パソコンの IPアドレスとサブネットマスクは次のとおり設定する必要があります。
<table>
<tr><td>IP アドレス</td><td>192.168.1.235 を除く、次の範囲内
192.168.1.1 ～ 192.168.1.254</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td>255.255.255.0</td></tr>
</table>
☞ P.153「6.3.9 パソコンの IP アドレスを設定したい」
すでに設定用に使用するパソコンを本商品以外のネットワークに接続している場合は、いったんネットワークから切り離して、本商品を設定するために IP アドレスなどを変更する必要があります。
また、本商品の設定後にパソコンの設定を元に戻す必要がありますので、現在パソコンに設定されている IP アドレスなどはメモに控えておいてください。</td></tr>
<tr><td>対処方法 2</td><td>セキュリティソフトを停止する
設定用パソコンで、ウイルス対策ソフトやファイアウォールソフトなどのセキュリティソフトが起動していると、本商品を設定できないことがあります。
そのため、セキュリティソフトをお使いの場合は、一時的にセキュリティソフトの動作を停止させてください。

本商品の設定が終了したら、セキュリティソフトを起動させてください。セキュリティソフトの停止方法や起動方法については、セキュリティソフトの取扱説明書をご覧いただくか、ソフトウェアメーカへお問い合わせください。</td></tr>
</table>

対処方法 3	OS のファイアウォール機能を無効にする 設定用パソコンの OS が Windows 7/Vista/XP（SP2 以降）の場合、ファイアウォール機能が動作していると本商品を設定できないことがあります。次の手順で一時的にファイアウォール機能を停止させてください。 〈Windows Vista の場合〉 （1）［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。 （2）「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」をクリックします。 クラシック表示の場合は、「コントロールパネルホーム」をクリックし、「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」をクリックします。 （3）「ユーザーアカウント制御」で［続行］をクリックします。 （4）「Windowsファイアウォールの設定」の「全般」タブをクリックします。 （5）「無効（推奨されません）」を選択し、［OK］をクリックします。 以上で、ファイアウォールが無効になりました。本商品の設定が終了したら、必ずファイアウォールの設定を元に戻してください。 〈Windows XP（SP2）の場合〉 （1）［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。 （2）「セキュリティセンター」をクリックします。 クラシック表示の場合は、「セキュリティーセンター」をダブルクリックします。 （3）「Windows ファイアウォール」をクリックします。 （4）「Windows ファイアウォール」の「全般」タブをクリックします。 （5）「無効（推奨されません）」を選択し、［OK］をクリックします。 以上で、ファイアウォールが無効になりました。本商品の設定が終了したら、必ずファイアウォールの設定を元に戻してください。

対処方法４	**プロキシサーバを使用しない設定にする** Web ブラウザでプロキシサーバを使う設定になっていると、本商品の設定画面が表示されません。次の手順で、Webブラウザでプロキシサーバを使用しない設定にしてください。 **〈Windows の場合〉** （1）Internet Explorer を起動して、「ツール」－「インターネットオプション」の順にクリックします。 （2）「インターネットオプション」画面の「接続」タブをクリックします。 （3）［LAN の設定］をクリックします。 （4）「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」画面で、「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」および「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックを外します。 （5）［OK］をクリックします。 （6）「インターネットオプション」画面で［OK］をクリックして、パソコンを再起動します。 以上で、プロキシサーバを使用しない設定になりました。本商品の設定が終了したら、必ず元に戻してください。

対処方法 4 つづき	〈Macintosh の場合〉 (1)「アップルメニュー」－「ネットワーク環境」－「ネットワーク環境設定」の順にクリックします。 (2)「ネットワーク」画面で「内蔵 Ethernet」を選択し、[設定] をクリックします。 (3)「プロキシ」をクリックします。 (4)「設定するプロキシサーバを選択」の項目のすべてのチェックを外します。 (5)［今すぐ適用］をクリックします。 以上で、プロキシサーバを使用しない設定になりました。本商品の設定が終了したら、必ず元に戻してください。

Q&A

対処方法５	**Internet Explorer をオンラインにする** Internet Explorer を起動したときに、タイトルバーに「オフライン作業」と表示されていると、ネットワークと通信していないため、本商品を正常に設定できません。 この場合は、Internet Explorer をオンラインにしてください。 （1）「ツール」－「オフライン作業」の順にクリックし、チェックを外します。 Internet Explorer 6 の場合は、「ファイル」－「オフライン作業」の順にクリックし、チェックを外します。 以上で、Internet Explorer がオンラインになりました。

6.2.3　無線で接続できない

無線 LAN で接続できないときは、次の内容を確認してください。

現象	・無線 LAN アダプタを取り付けたパソコンから本商品に接続できない ・セキュリティの設定をしたら通信できなくなった
対処方法 1	**無線 LAN を正しく設定する** セキュリティには、無線グループの SSID（ESSID）、認証方式、暗号化などがあり、親機と子機で同じ設定になっていないと通信できません。 本商品のセキュリティ設定を確認したうえで、お使いの無線 LAN アダプタに同じセキュリティ設定をしてください。 本商品のセキュリティ設定の初期値については、次の項目をご覧ください。 ☞ P.168「**付録**　工場出荷時設定」 お使いの無線 LAN アダプタの設定方法については、お使いの無線 LAN アダプタの取扱説明書をご覧ください。
対処方法 2	**MAC アドレスフォルタリングを使用していないか確認する** 本商品の MAC アドレスフィルタリングを使用している場合は、無線 LAN アダプタの MAC アドレスを本商品に設定する必要があります。 MAC アドレスフィルタリングの設定方法については、次の項目をご覧ください。 ☞ P.114 「■　アクセス制限」
対処方法 3	**Windows XP 用更新プログラム「KB893357」をインストールする** Windows XP に標準搭載されている無線 LAN で接続するときに、「次のネットワークにログインするのに必要な証明書が見つかりませんでした」とエラーが表示される場合は、Windows XP 用更新プログラム「KB893357」をインストールしてください。 検索サイトで「KB893357」を検索し、Microsoft 社のホームページからダウンロードします。

6.2.4 LAN ポートに接続した機器で接続できない

有線 LAN で接続できないときは、次の内容を確認してください。

現象	・LAN LED（1 ～ 5）が点灯（点滅）しない ・通信できない
対処方法 1	**機器の状態を確認する** 接続先の機器の電源が入っているか確認してください。また、パソコンに取り付けられている LAN アダプタに障害がないか、LAN ケーブルが LAN アダプタに正しく接続され、通信できる状態にあるかなどを確認してください。
対処方法 2	**LAN ケーブルを確認する** LAN ケーブルが正しく接続されているか、正しい LAN ケーブルを使用しているか、LAN ケーブルが断線していないかなどを確認してください。 LAN ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため（結線は良いが特性が悪い場合など）、ほかの LAN ケーブルに交換して試してみてください。 なお、使用できる LAN ケーブルについては、次の項目をご覧ください。 ☞ P.33「2.2.3 ネットワーク機器を接続する」 ☞ P.73「4.2.3 ネットワーク機器を接続する」
対処方法 3	**本商品の LAN ポートを確認する** 特定のポートが故障している可能性があります。LAN ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。 別のポートで問題がない場合、次の項目をご覧になり修理を依頼してください。 ☞ P.169 「■修理について」

6.2.5　IPv6 を利用するサービスが使えない

IPv6 を利用するサービスが使えなくなった場合は、次の内容を確認してください。

現象	クライアント（子機）モードで本商品を接続したら、利用できていた IPv6 サービスが使えなくなった
対処方法	**IPv 6 の設定を確認する** 本商品の IPv6 ブリッジを有効にする必要があります。 メモ　複数台のネットワーク機器でのIPv6通信はお勧めしません。 ☞ P.60「3.5.2 IPv6 ブリッジ」

6.2.6　ユーザ名（管理者ログイン名）、パスワードを忘れた

ユーザ名（管理者ログイン名）、パスワードを忘れて Web 設定画面にログインできないときは、次のとおりに対処してください。

現象	・ユーザ名（管理者ログイン名）を忘れてしまった ・パスワードを忘れてしまった ・次の画面が表示されてログインできない 認証エラー ユーザ名、またはパスワードが違います。 戻る
対処方法	ユーザ名（管理者ログイン名）およびパスワードを忘れてしまうと、本商品の Web 設定画面にログインできなくなります。この場合は、本商品を工場出荷時の状態に戻すことで、ユーザ名（管理者ログイン名）およびパスワードが初期化されます。 注意　**本商品に設定した内容がすべて工場出荷時の状態に戻ります。** ☞ P.147「6.3.6 工場出荷時の状態に戻したい」

Q&A

6.3　よくあるご質問

よくあるご質問とその回答を説明しています。

☞ P.130「6.3.1　300Mbps（理論値）で通信したい」
☞ P.134「6.3.2　エコピタ LED を設定したい」
☞ P.135「6.3.3　最新のファームウェアを入手してアップデートしたい」
☞ P.141「6.3.4　設定を保存したい／元に戻したい」
☞ P.145「6.3.5　再起動したい」
☞ P.147「6.3.6　工場出荷時の状態に戻したい」
☞ P.150「6.3.7　ユーザ名（管理者ログイン名）、パスワードを変更したい」
☞ P.151「6.3.8　パソコンの IP アドレスを調べたい」
☞ P.153「6.3.9　パソコンの IP アドレスを設定したい」

6.3.1　300Mbps（理論値）で通信したい

本商品は、20MHz 幅のチャンネルを 2 つ束ねて使用する「ダブルチャンネル」機能と、ガードバンドを短くして通信帯域を広げる「ショートガードインターバル」機能を搭載し、IEEE802.11n の 300Mbps（理論値）の通信速度に対応します。
クライアント（子機）モードとアクセスポイント（親機）モードで、設定方法が異なります。

本機能を使用することで、近隣の無線 LAN ネットワークの通信速度が低下することがあります。

・クライアント（子機）モード時は、2.4GHz 帯と 5GHz 帯での 802.11n に対応します。
・アクセスポイント（親機）モード時は、2.4GHz 帯と 5GHz 帯のいずれかの 802.11n に対応します。n/g/b ⇔ n/a の切替式です。

■クライアントモード時

●動作環境

クライアント（子機）モード時の本商品は、以下のアクセスポイント（親機）のダブルチャンネルに対応します（2009 年10月現在）。

- CG-WLR300NNH（2.4GHz 帯／ 5GHz 帯）
- CG-WLR300GNH（2.4GHz 帯）
- CG-WLR300N（2.4GHz 帯）
- CG-WLRGNX（2.4GHz 帯）（※ 1）
- CG-WLBARAGNL（2.4GHz 帯／ 5GHz 帯）
- CG-WLBARAGND（5GHz 帯）
- CG-WLBARGNH（2.4GHz 帯）
- CG-WLBARGNM（2.4GHz 帯）
- CG-WLBARGNL（2.4GHz 帯）（※ 2）
- CG-WLBARGNS（2.4GHz 帯）（※ 1）
- CG-WLCVR300AGN（アクセスポイントモード）（2.4GHz 帯／ 5GHz 帯）

※ 1　150Mbps（理論値）に対応します。

※ 2　300Mbps 対応版のみ 300Mbps（理論値）に対応します。

●設定方法

クライアント（子機）モード時の本商品は、アクセスポイント（親機）に合わせて自動的に適切な通信速度に設定されます。「ダブルチャンネル」や「ショートガードインターバル」などの設定をする必要はありません。アクセスポイント（親機）の「ダブルチャンネル」と「ショートガードインターバル」を設定してください。

※ 画面は、CG-WLBARAGND の例です。

■アクセスポイントモード時

●動作環境

アクセスポイント（親機）モード時の本商品のダブルチャンネルに対応するクライアント（子機）は次のとおりです（2009 年 10 月現在）。

- CG-WLCB300AGN（2.4GHz 帯／ 5GHz 帯）
- CG-WLUSB300AGN（2.4GHz 帯／ 5GHz 帯）
- CG-WLCB300GNM（2.4GHz 帯）
- CG-WLUSB300GNM（2.4GHz 帯）
- CG-WLCB144GNL（2.4GHz 帯）（※ 1）
- CG-WLUSB2GNL（2.4GHz 帯）（※ 1）
- CG-WLCB300GNS（2.4GHz 帯）（※ 2）
- CG-WLUSB300GNS（2.4GHz 帯）（※ 2）
- CG-WLUSB300N（2.4GHz 帯）（※ 2）
- CG-WLUSBNM（2.4GHz 帯）（※ 3）
- CG-WLCVR300AGN（クライアントモード）（2.4GHz 帯／ 5GHz 帯）

※ 1　300Mbps 対応版のみ 300Mbps（理論値）に対応します。

※ 2　受信は 300Mbps（理論値）、送信は 150Mbps（理論値）に対応します。

※ 3　受信および送信は 150Mbps（理論値）に対応します。

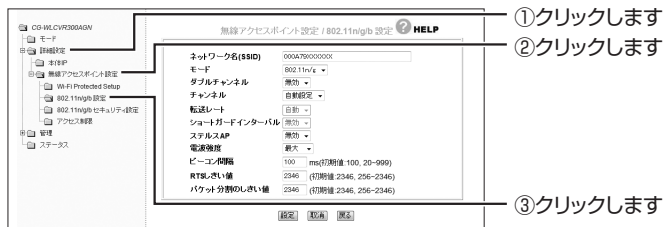
●設定方法

環境が用意できましたら、次の手順で本商品の設定を変更します。

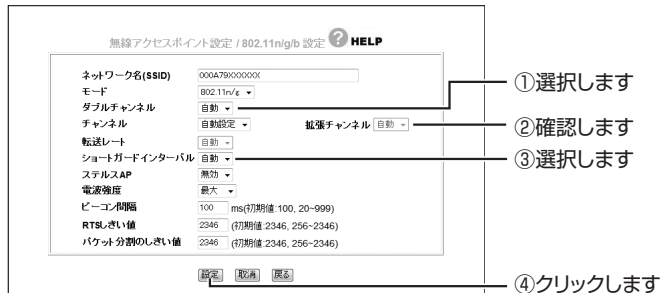
1　本商品をアクセスポイントモードに設定します。

☞ P.71 「4.1.2　動作モードの設定」

2　設定画面を表示します。

3　次の手順で、無線 LAN の設定画面を表示します。

※画面は、802.11n/g の例です。

①「詳細設定」をクリックします。
②「無線アクセスポイント設定」をクリックします。
③「802.11n/g/b 設定」または「802.11n/a 設定」をクリックします。

4 次の手順で設定します。

※画面は、802.11n/g の例です。

①「ダブルチャンネル」で「自動」を選択します。
②「拡張チャンネル」が表示されることを確認します。
③「ショートガードインターバル」で「自動」を選択します。
④［設定］をクリックします。

「拡張チャンネル」は、40MHz 幅の通信が有効になったときに、使用する「チャンネル」に合わせて自動的に設定されます（「拡張チャンネル」は手動で設定できません）。

5 設定画面右上の「ログアウト」をクリックし、設定画面からログアウトします。

6 本商品の電源を入れ直します。

以上で、設定は完了です。

Q&A

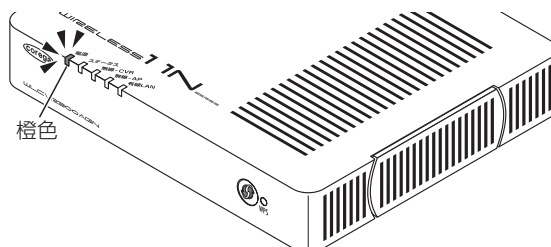
6.3.2 エコピタ LED を設定したい

電源 LED 以外の前面 LED を常時消灯しておくことで、消費電力を抑えるとともに、夜間のまぶしさを低減します。
エコピタ LED 消灯モードは次の手順で設定してください。

1 「管理」画面を表示します。

設定画面を表示し、画面左側のメニューで「管理」をクリックします。

2 「フロント LED」の［有効］をクリックし、［設定］をクリックします。

電源 LED が橙色に変わったことを確認します。

以上で、エコピタ LED 消灯モードの設定は完了です。

エコピタ LED 消灯モードを終了する場合は、「フロント LED」の［無効］をクリックします。

6.3.3　最新のファームウェアを入手してアップデートしたい

本商品の機能強化のため予告なくファームウェアをバージョンアップすることがあります。最新のファームウェアはコレガホームページ（http://corega.jp/）から入手してください。

- ファームウェアをアップデートする前に、本商品の設定内容をメモに控えておいてください。アップデートしたあとで、再度設定してください。
- セキュリティソフトを使用している場合、ファームウェアをアップデートする前にセキュリティソフトを停止し、ファームウェアをアップデートしたあとで元に戻してください。セキュリティソフトの停止方法については、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご覧ください。
- ファームウェアのアップデートは、有線 LAN で接続したパソコンから操作してください。
- ファームウェアのアップデート中は、絶対に本商品の電源を切らないでください。また、設定画面のほかの操作をしたり、アプリケーションを起動したりしないでください。ファームウェアのアップデートに失敗すると、本商品の故障の原因になります。

■ファームウェアを用意する

1　コレガホームページで確認します。

コレガホームページのダウンロードページで、最新のファームウェアが公開されているか確認します。最新ファームウェアが公開されている場合はファイルをダウンロードします。

最新ファームウェアが公開されていない場合は、更新する必要はありません。

Q&A

2 ファイルを解凍します。

ダウンロードしたファイルは圧縮されているため、解凍する必要があります。次の手順は、Windows Vista を例に説明しています。

①ダウンロード先のフォルダを開き、ファイルをダブルクリックして解凍します。

②［実行］をクリックします。

③［OK］をクリックします。

・標準の状態では、「C:¥corega」に解凍されます。解凍先を指定する場合は、［参照］をクリックして場所を指定してください。
・Windows Vista では引き続き次の画面が表示される場合があります。その場合は、「このプログラムは正しくインストールされました」をクリックしてください（弊社で動作を確認しています）。

以上で、ファームウェアの更新の用意が完了です。続いて、P.138「■ ファームウェアをアップデートする」に進みます。

Q&A

■ファームウェアをアップデートする

ここでは P.135「■ ファームウェアを用意する」の手順に従って、「C:¥corega」という名前のフォルダに最新のファームウェアを保存した場合を例として説明しています。

1 「管理」画面を表示します。

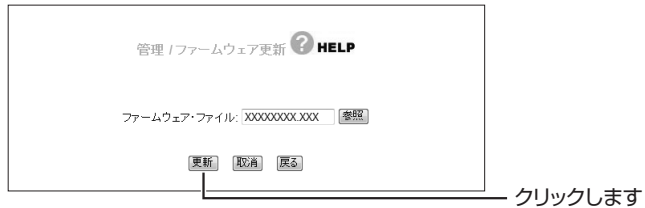
設定画面を表示し、画面左側のメニューで「管理」をクリックします。

2 「ファームウェア更新」をクリックします。

3 ファームウェアを選択します。

①［参照］をクリックします。

②「C:¥corega」フォルダ内のファームウェアを選択し、［開く］をクリックします。

③［更新］をクリックします。

4　［OK］をクリックし、ファームウェアの更新を開始します。

Q&A

5 次の画面が表示されます。アップデートが完了するまでお待ちください。

画面が表示されている間は、絶対に本商品の電源を切らないでください。また、設定画面のほかの操作をしたり、アプリケーションを起動したりしないでください。ファームウェアのアップデートに失敗すると、本商品の故障の原因になります。

ファームウェアを更新しています。
更新中は電源を切らないでください。

更新完了まであと 170 秒お待ちください。

6 アップデートが完了したら、本商品の初期化ボタンを10 秒以上押し、本商品を工場出荷時の状態に戻します。

ファームウェアのアップデート後は、必ず本商品の初期化ボタンで工場出荷時の状態に戻してください。設定画面で工場出荷時の状態に戻さないでください。

☞ P.147「6.3.6 工場出荷時の状態に戻したい」

以上で、ファームウェアがアップデートできました。

■ファームウェアのアップデートに失敗したときは

ファームウェアのアップデートに失敗したときは、いったん本商品を工場出荷時の状態に戻したあとで、再度ファームウェアをアップデートしてください。

☞ P.147「6.3.6 工場出荷時の状態に戻したい」

6.3.4　設定を保存したい／元に戻したい

設定した内容をファイルに保存したり、保存した設定ファイルを読み込んで本商品を設定できます。

■設定を保存する

1　**「管理」画面を表示します。**

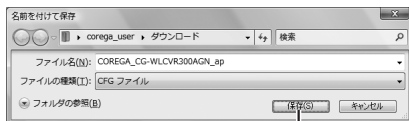
設定画面を表示し、画面左側のメニューで「管理」をクリックします。

2　**設定ファイルを保存します。**

①「設定保存」の［保存］をクリックします。

②［保存］をクリックします。

※画面は、アクセスポイント（親機）モードの例です。

③「名前を付けて保存」画面が表示されます。保存する場所を指定し、［保存］をクリックして、設定ファイルを保存します。

※画面は、アクセスポイント（親機）モードの例です。

以上で、本商品に設定した内容をファイルに保存しました。

■設定を元に戻す

1 「管理」画面を表示します。

設定画面を表示し、画面左側のメニューで「管理」をクリックします。

2 設定ファイルを読み込みます。

①「設定読込」の［読込］をクリックします。

②［参照］をクリックします。

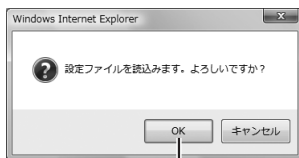
③「設定を保存する」で保存した設定ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

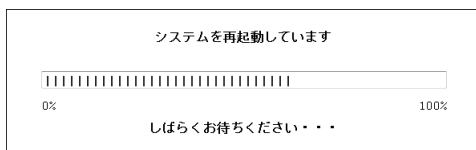
※画面は、アクセスポイント（親機）モードの例です。

④［読込］をクリックします。

※画面は、アクセスポイント（親機）モードの例です。

Q&A

⑤［OK］をクリックし、読み込みを開始します。

クリックします

⑥設定ファイルの読み込み中は、次の画面が表示されます。再起動が完了するまでお待ちください。

画面に表示される秒数は、お使いの環境によって異なる場合があります。

⑦ファイルの読み込みが終了すると、ログイン画面が表示されます。

以上で、設定ファイルから本商品の設定の読み込みが完了しました。

6.3.5　再起動したい

設定の変更やファームウェアの更新など、本商品の状態を変更した場合は、本商品を再起動して設定を反映させてください。
本商品を再起動するには、次の 2 とおりの方法があります。

■電源を入れ直して再起動する

1　電源を切ります。

AC アダプタを電源コンセントから抜きます。

2　電源を入れます。

30 秒以上時間を空けてから再度 AC アダプタを電源コンセントに差し込みます。

本商品が起動するまでに 2 分ほどかかります。起動が完了する前でしばらくお待ちください。

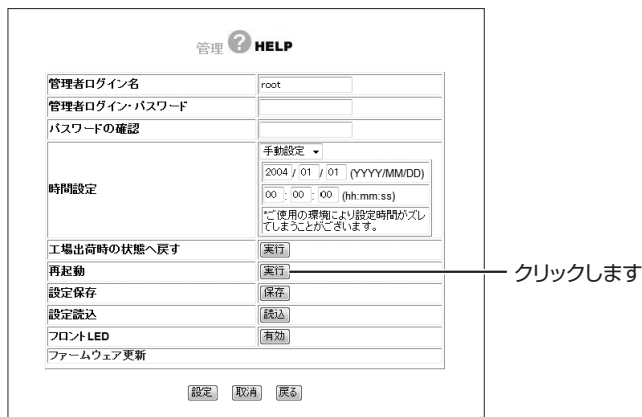
以上で、本商品の再起動は完了です。

■設定画面で再起動する

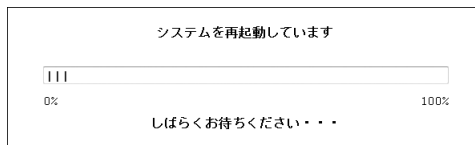
1　「管理」画面を表示します。

設定画面を表示し、画面左側のメニューで「管理」をクリックします。

Q&A

2 「再起動」の［実行］をクリックします。

3 ［OK］をクリックします。

4 再起動中は、次の画面が表示されます。

再起動が完了するまでお待ちください。

再起動が完了すると、ログイン画面が表示されます。

以上で、再起動は完了です。

6.3.6　工場出荷時の状態に戻したい

現在動作しているモード（クライアントモードまたはアクセスポイントモード）の設定を工場出荷時の状態に戻せます。設定した内容が消去されますので、設定内容を保存しておくことをお勧めします。
☞ P.141「6.3.4　設定を保存したい／元に戻したい」

- 本商品を工場出荷時の状態に戻すと、今まで設定した情報が初期値に戻ります。重要な設定をしている場合は、設定内容をメモに控えておいてください。
- 現在動作していないモードの設定は工場出荷時の状態に戻りません。完全に工場出荷時の状態に戻すには、クライアント（子機）モードとアクセスポイント（親機）モードのそれぞれの状態で工場出荷時の状態に戻してください。

本商品を工場出荷時の状態に戻すには、次の 2 とおりの方法があります。

■初期化ボタンで工場出荷時の状態に戻す

1　**本商品の電源をオンにします。**

本商品が起動するまで 2 分ほどかかります。起動が完了するまでしばらくお待ちください。

2　**初期化ボタンを 10 秒以上押します。**

本商品の背面にある初期化ボタンを 10 秒以上押し続けます。押し始めてから 5 秒ほどでステータス LED がゆっくり点滅して、さらに 5 秒ほどでステータス LED が速く点滅します。
速く点滅していることを確認してから初期化ボタンを離します。
初期化ボタンはクリップなど硬くて細いもので押してください。

3　**本商品が起動します。**

本商品が起動するまで 2 分ほどかかります。起動が完了するまでしばらくお待ちください。

以上で、本商品が工場出荷時の状態に戻りました。

Q&A

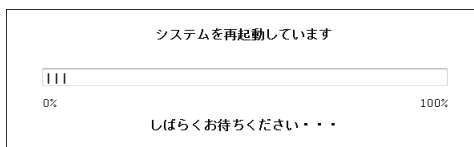
■設定画面で工場出荷時の状態に戻す

1 「管理」画面を表示します。

設定画面を表示し、画面左側のメニューで「管理」をクリックします。

2 「工場出荷時の状態へ戻す」の [実行] をクリックします。

3 [OK] をクリックします。

4 初期化中は、次の画面が表示されます。初期化が完了するまでお待ちください。

初期化が完了すると、ログイン画面が表示されます。

IP アドレスや無線の設定を変更している場合、ログイン画面は表示されません。あらためて Web 設定画面を表示するには、次の項目をご覧ください。

☞ P.52「3.1　Web 設定画面を表示する」
☞ P.96「5.1　Web 設定画面を表示する」

以上で、本商品が工場出荷時の状態に戻りました。

6.3.7　ユーザ名（管理者ログイン名）、パスワードを変更したい

本商品のユーザ名（管理者ログイン名）、パスワードは次の手順で変更できます。

1　「管理」画面を表示します。

設定画面を表示し、画面左側のメニューで「管理」をクリックします。

2　次のように設定します。

①新しく設定するログイン名を入力します。
②新しく設定するパスワードを入力します。
③確認のため、②で入力したパスワードを再度入力します。
④［設定］をクリックします。

3　ログアウトします。

設定画面更新後に画面右上の［ログアウト］をクリックし、設定画面からログアウトします。

以上で、管理者ログイン名とパスワードが変更されました。次回ログイン時から新しい管理者ログイン名とパスワードでログインします。

6.3.8　パソコンの IP アドレスを調べたい

Windows や Macintosh のパソコンの IP アドレスやネットワーク環境は次の方法で確認できます。そのほかの環境の場合は、お使いの機器のヘルプや取扱説明書をご覧ください。

■ Windows の場合

1　コマンドプロンプトを起動します。

「スタート」－「すべてのプログラム」（Windows 2000 の場合は「プログラム」）－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

2　ipconfig コマンドを入力します。

コマンドプロンプト上で、キーボードから「ipconfig」と入力して、「Enter」キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.6000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.  All rights reserved.

C:¥>ipconfig
```

※画面は Windows Vista での例です。

3　IP アドレスを確認します。

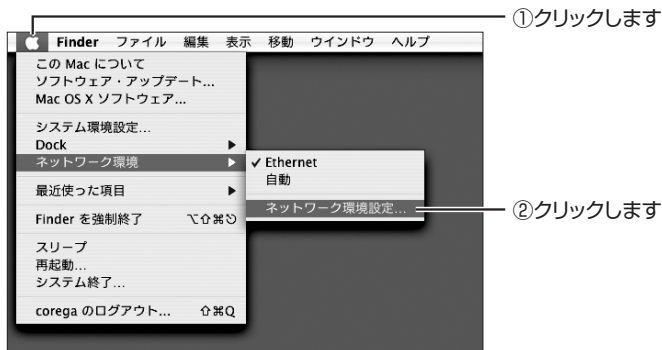
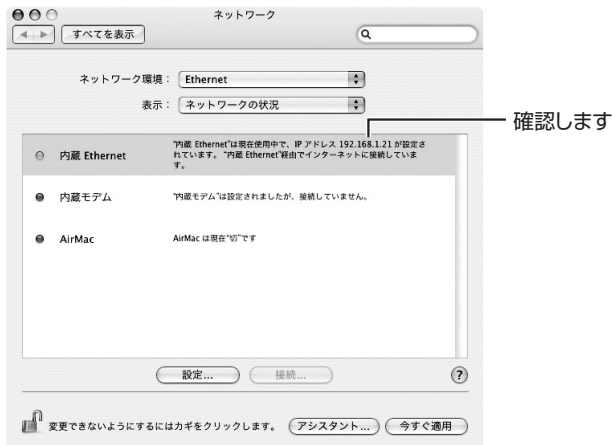
「IPv4 アドレス（IP Address）」に表示された数字が、お使いのパソコンの「IP アドレス」です。
「サブネットマスク（Subnet Mask）」、「デフォルトゲートウェイ（Default Gateway）」に表示された数字がネットワーク環境です。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.6000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.  All rights reserved.

C:¥>ipconfig

Windows IP 構成


イーサネット アダプタ ローカル エリア接続:

   接続固有の DNS サフィックス . . . : XXXXXX.XXXX
   リンクローカル IPv6 アドレス. . . . : XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXXXX
   IPv4 アドレス . . . . . . . . . . : 192.168.1.22
   サブネット マスク . . . . . . . . : 255.255.255.0
   デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.1.1

C:¥>
```

※画面は Windows Vista の例です。

Q&A

■ Macintosh の場合

1 「アップルメニュー」－「ネットワーク環境」－「ネットワーク環境設定」の順にクリックします。

2 IP アドレスを確認します。

※画面は、「192.168.1.21」に設定されている例です。

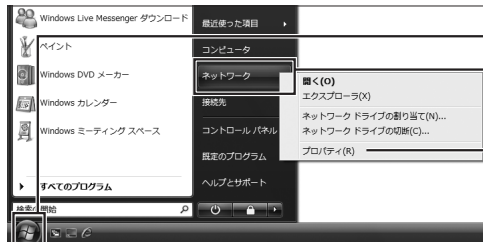
6.3.9　パソコンの IP アドレスを設定したい

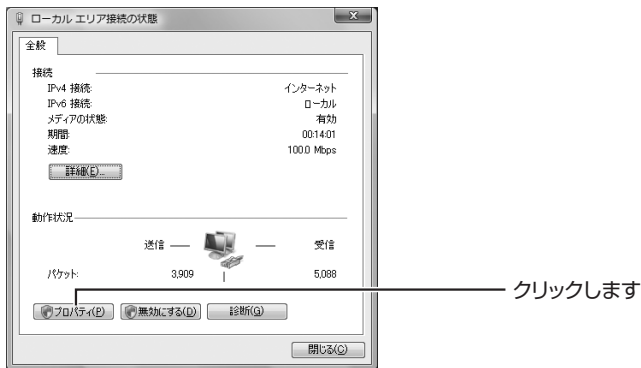
本商品の設定画面を表示するには、次の手順でパソコンの IPアドレスを設定する必要があります。IP アドレスの設定方法は、お使いの OS によって異なります。

☞ P.153「■ Windows Vista の場合」
☞ P.157「■ Windows XP ／ 2000 の場合」
☞ P.160「■ Mac OS X 10.5 の場合」

■ Windows Vista の場合

必ず「コンピュータの管理者」または「Administrator（アドミニストレータ）」権限のあるユーザでログオンしてください。

1　［スタート］をクリックし、［ネットワーク］を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。

2 「状態の表示」をクリックします。

3 ［プロパティ］をクリックします。

4　「ユーザーアカウント制御」画面で、［続行］をクリックします。

5　「インターネットプロトコルバージョン４(TCP/IPv4)」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

Q&A

6 IP アドレスを設定し、[OK] をクリックします。

IP アドレス	192.168.1.XXX （XXX は 1 ～ 254 で、230 と 235 以外の任意の数値）
サブネットマスク	255.255.255.0

7 「ローカルエリア接続のプロパティ」で [OK] をクリックし、画面を閉じます。

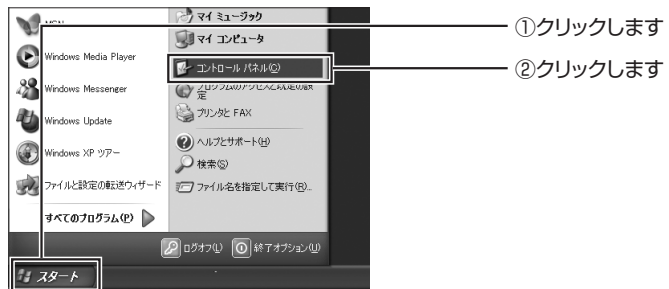
以上で、本商品の設定画面を表示するための IP アドレスの設定は完了しました。

本商品の設定が終了したら、IP アドレスの設定を元に戻してください。

■ Windows XP ／ 2000 の場合

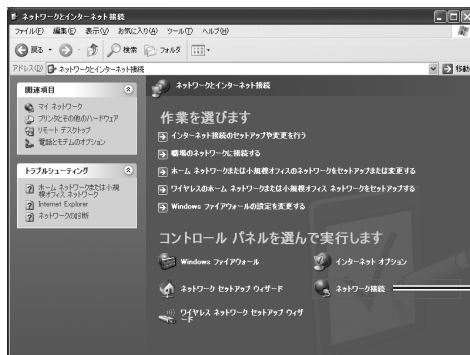
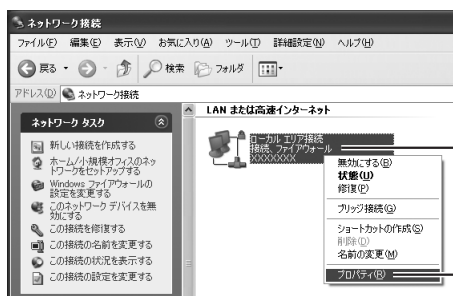
・本書では Windows XP を例に説明しています。お使いの環境によって、表示される画面が異なります。
・管理者（Administrator）権限でパソコンにログオンしてください。

1　［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、［スタート］－「設定」－「コントロールパネル」の順にクリックします。

2　「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

・Windows 2000 の場合は、「コントロールパネル」の「ネットワーク接続」をダブルクリックして、手順 4 に進みます。

・Windows XP で「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックしてください。

3　「ネットワーク接続」をクリックします。

4　「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

5　「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、[プロパティ] をクリックします。

6　IP アドレスを設定し、[OK] をクリックします。

IP アドレス	192.168.1.XXX (XXX は 1 ～ 254 で、230 と 235 以外の任意の数値)
サブネットマスク	255.255.255.0

7　「ローカルエリア接続のプロパティ」で［閉じる］をクリックします。

8　再起動します。

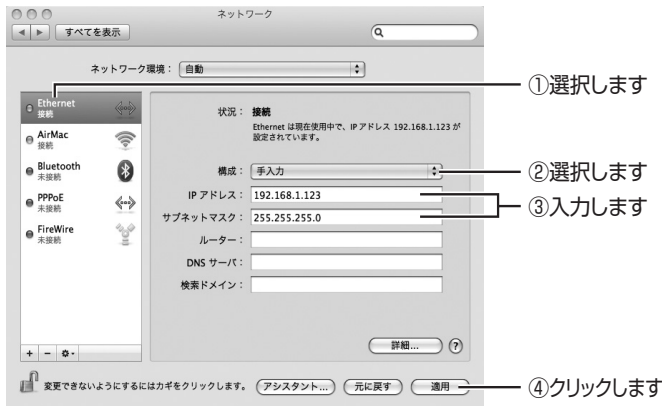
再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、パソコンを再起動します。ダイアログボックスが表示されなかった場合も、手動で再起動してください。

以上で、設定用パソコンのネットワーク設定は完了です。

本商品の設定が終了したら、IP アドレスの設定を元に戻してください。

■ Mac OS X 10.5 の場合

1　「アップルメニュー」－「ネットワーク環境」－「ネットワーク環境設定」の順にクリックします。

2　IP アドレスを設定し、［適用］をクリックします。

IP アドレス	192.168.1.XXX （XXX は 1 ～ 254 で、230 と 235 以外の任意の数値）
サブネットマスク	255.255.255.0

以上で、設定用パソコンのネットワーク設定は完了です。

本商品の設定が終了したら、IP アドレスの設定を元に戻してください。

Q&A

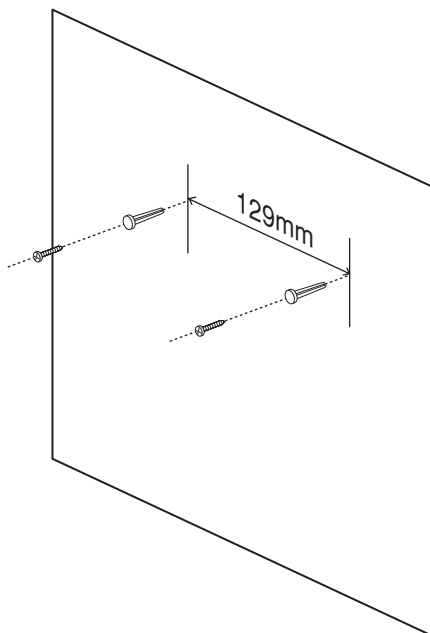
付録

壁掛け用ネジセットで壁掛けする

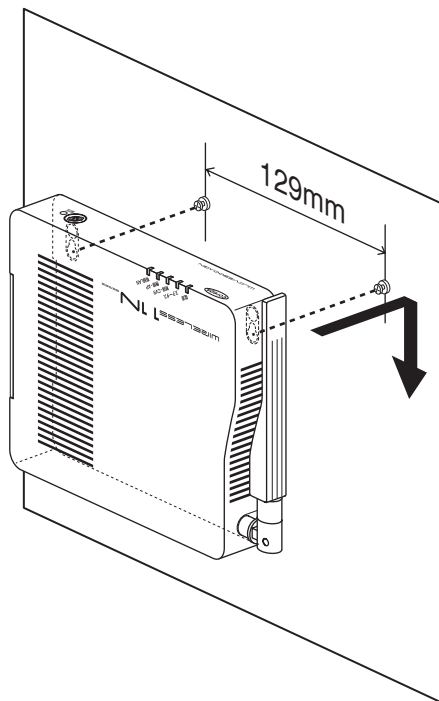
本商品は付属の壁掛け用ネジセットを使用して、壁面へ取り付けできます。

1 **本体底面のゴム足をすべて取り外します。**

2 **壁にネジを埋め込みます。**

壁掛け用ネジ穴の間隔で、付属の壁掛け用ネジセットのネジ（2本）を壁などに埋め込みます。ネジは最後まで埋め込まず、ネジ頭を約5mm 残します。

石膏ボードやベニヤなど、中空になっていてネジが埋め込みづらい場合は、壁掛けネジセットのプラスチックアンカ（2 個）を併用します。ネジを埋め込む位置に、キリやドリルなどで穴を開けておき、プラスチックアンカをかなづちで軽く叩いて壁に埋め込みます。穴はプラスチックアンカがぴったり入る程度の大きさにしてください。穴が大きすぎると、がたつきの原因になり、落下による破損やけがの原因になるおそれがあります。

3　本体を壁に取り付けます

本体の壁掛け用ネジ穴を壁に埋め込んだネジ頭に合わせます。本体を下にスライドさせて、しっかり固定します。

本商品やケーブルの重みによって本商品が落下しないように、設置場所に取り付けたあとで確実に固定されていることを確認してください。

仕様一覧

サポート規格	**無線 LAN**	（国際規格）IEEE802.11n/IEEE802.11a/IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11
		（国内規格）ARIB STD-T66/STD-T71
	LAN	IEEE802.3ab（1000BASE-T）/ IEEE802.3u（100BASE-TX）/ IEEE802.3（10BASE-T）/ IEEE802.3x（Flow Control）
取得承認		VCCI クラス B、技術基準適合証明
対応 PC		DOS/V パソコン、Macintosh
対応 OS		Windows Vista（32bit）/XP（32bit）/2000/Me/98SE、Mac OS X（10.5/10.4）
推奨ブラウザ		Internet Explorer 8.0/7.0/6.0、Safari 3.0/2.0

<table>
<tr><td rowspan="9">無線 LAN 仕様</td><td colspan="2">周波数帯域</td><td>[IEEE802.11n/a (W52/W53)] 5.18GHz ～ 5.32GHz (中心周波数表示)
[IEEE802.11n/a（W56）] 5.50GHz～ 5.70GHz（中心周波数表示）
[IEEE802.11n/g/b] 2.412GHz ～ 2.472GHz (中心周波数表示)</td></tr>
<tr><td colspan="2">チャンネル数</td><td>[IEEE802.11n/a（W52/W53）] 8ch （36/40/44/48/52/56/60/64ch）
[IEEE802.11n/a（W56）] 11ch（100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch）
[IEEE802.11n/g/b] 13ch （1 ～ 13ch）</td></tr>
<tr><td colspan="2">伝送速度</td><td>[IEEE802.11n] 300Mbps（ショートガードインターバル / ダブルチャンネル時（最大））
[IEEE802.11a/g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps
[IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps</td></tr>
<tr><td colspan="2">伝送方式</td><td>OFDM（直交周波数分割多重変調方式）、DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式）</td></tr>
<tr><td colspan="2">通信モード</td><td>Infrastructure（クライアントモード、アクセスポイントモード）</td></tr>
<tr><td colspan="2">アンテナ形式</td><td>固定式外部アンテナ× 1、プリントアンテナ× 2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">セキュリティ</td><td>クライアントモード時</td><td>SSID（IEEE802.11：ID（文字列）による識別）、
WEP（64/128bit）、
WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、
TKIP/AES（WPA/WPA2 の設定内に含む）</td></tr>
<tr><td>アクセスポイントモード時</td><td>SSID（IEEE802.11：ID（文字列）による識別）、
WEP（64/128bit）、
WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、
TKIP/AES（WPA/WPA2 の設定内に含む）、
ステルス AP（SSID 名隠蔽、ANY 拒否）、
MAC アドレスフィルタリング</td></tr>
<tr><td colspan="3" style="display:none"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">LAN 仕様</td><td colspan="2">規格</td><td>1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、
Full Duplex/Half Duplex オートネゴシエーション</td></tr>
<tr><td colspan="2">ポート</td><td>RJ-45 × 5 ポート（全ポート MDI/MDI-X 自動認識）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">電源仕様（ACアダプタ）</td><td colspan="2">定格入力電圧</td><td>AC100V（50/60Hz）</td></tr>
<tr><td colspan="2">定格入力電流</td><td>600mA</td></tr>
<tr><td colspan="3">最大消費電力</td><td>9.5W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">環境条件</td><td colspan="2">動作時</td><td>温度 0 ～ 40℃／湿度 5 ～ 90%（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td colspan="2">保管時</td><td>温度 － 20 ～ 60℃／湿度 5 ～ 95%（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td colspan="3">外形寸法</td><td>163（W）× 137（D）× 27（H）mm
本体のみ（アンテナ / ゴム足 / 突起部を含まず）</td></tr>
<tr><td colspan="3">質量</td><td>310g 本体のみ</td></tr>
</table>

工場出荷時設定

■クライアントモード

工場出荷時はクライアント（子機）モードに設定されています。クライアント（子機）モード時の初期設定は次のとおりです。

モード切替スイッチ	CVR
動作モード	クライアント
IP アドレス	192.168.1.235
ログイン名（管理者ユーザ名）	root
パスワード	（空欄）
ネットワーク名（SSID）	corega
認証方式	Open System
暗号方式	無効

■アクセスポイントモード

モード切替スイッチを「AP」にすると、アクセスポイント（親機）モードになります。アクセスポイント（親機）モード時の初期設定は次のとおりです。

モード切替スイッチ	AP
動作モード	アクセスポイント
IP アドレス	192.168.1.230
ログイン名（管理者ユーザ名）	root
パスワード	（空欄）
ネットワーク名（SSID）	本体底面の「AP モード時」の「ネットワーク名（SSID/MAC）」に記載
認証方式	WPA/WPA2-PSK
暗号方式	AES/TKIP
初期 PIN コード（ネットワークキー）	本体底面の「AP モード時」の「初期 PIN コード（ネットワークキー）」に記載

保証と修理について

■保証について

「製品保証書」に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。
本商品の保証期間については、「製品保証書」に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧いただき、正しく設定・接続できていることを確認してください。現象が改善されない場合は、コレガホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトのうえ、必要事項を記入したものと「製品保証書」および購入日の証明できるもののコピー（領収書、レシートなど）を添付し、商品（付属品一式とともに）をご購入された販売店へお持ちください。
修理をご依頼される場合は、次の点にご注意ください。

- ・弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。
- ・修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- ・「製品保証書」に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- ・商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- ・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・修理完了後、本商品の設定は初期化状態（工場出荷時の状態）に戻りますので、あらかじめご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入された販売店へお持ちください。下記 URL に有償修理価格が記載されていますのでご覧ください。

http://corega.jp/repair/

おことわり

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正、改訂することがあります。
また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

本商品は、GNU General Public License Version 2に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundationが定めたGNU General Public License Version 2の条件に従ってこれらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思いますが、頒布にあたっては、市場性および特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証もしません。詳細については、コレガホームページ内の「GNU一般公有使用許諾書（GNU General Public License）」をお読みください。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、コレガホームページ、サポート情報内の個別製品の「ダウンロード情報」をご覧ください。配布時に発生する費用はお客様のご負担になります。

2008年　9月　初　版
2009年11月　第二版

【コレガ FAX サポートセンタ　045-476-6294】

お問い合わせ用紙　※ CG-WLCVR300AGN 専用お問い合わせ用紙

お電話にてお問い合わせをいただいた場合、製品の仕様上、環境や現象などを正確に把握して、問題を解決するまでにお時間がかかる場合がございます。お手数ですが、なるべく FAX・メールサポートをご利用頂きますようお願いします。

お問い合わせ日：　　　年　　月　　日

コレガサポートセンタにご質問される場合、お問い合わせ商品に関する以下の情報をご記入ください。

会社名		**部署名**	
フリガナ		**ご購入先**	
ご担当者名			
ご連絡先	TEL： 携帯電話：	FAX：	

商品を複数台お使いの場合はその旨ご記入ください。

商品名（型番）		**ファームウェアバージョン**	
シリアル番号	(S/N) □□□□□□□□□□□□□□□□　Rev.□□		

以下にご利用のネットワーク構成やご利用環境をご記入ください。

以下にご質問内容をご記入ください（□にチェックを付けてください）。

□トラブル　（□常に発生する　□特定の動作をすると発生する　□不定期に発生する）
□設定方法　（□初期など　□購入後）

□別紙有り（ログデータや設定画面など、お問い合せ用紙に書ききれない場合は、別紙を添付してください）

■コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをおすすめします。

http://corega.jp/

■商品に関するご質問は・・・

商品に関するご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際にはコレガホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話のいずれかの方法でお問い合わせください。

●お問い合わせ先

【コレガサポートセンタ】

メールサポート：下記 URL からユーザ登録をしたあと、お問い合わせください。

http://corega.jp/faq/

FAX ：045-476-6294
電話 ：045-476-6268

〈受付時間〉

10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　月～金（祝・祭日を除く）

※サポート内容、電話番号など、予告なく変更する場合があります。最新情報はコレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。

※本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版 OS のみ動作を保証しています。そのため、日本語版 OS 以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。

※サポートセンタへのお問い合わせは日本語に限らせていただきます。
This product is supported only in Japanese.

※電話が混み合っている場合は、メールサポートおよび FAX サポートをご利用ください。

●必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

- 商品名
- シリアル番号（S/N)、リビジョンコード（Rev.）
- お名前、フリガナ
- 連絡先電話番号、FAX 番号
- 購入店
- 購入日付
- お使いのパソコンの機種
- OS
- 接続構成
- お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）

PRINTED WITH SOY INK　本書は再生紙を使用しています。